

令和4 年度 魚住10号線道路改良工事

工事設計図書
(当初設計)

工事番号

路線名等 魚住10号線

工事箇所 明石市魚住町長坂寺 地内

工 種 道路改良

工 事 費				概 要	
	実 施 (前回変更)	今 回 変 更	増 減 額		
設 計 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	円 (円)		施工延長 L=19m プレキャスト型擁壁工 L=19m 転落防止柵工 L=25m 鋼矢板圧入 (H=7.5m) N=22枚 鋼矢板圧入 (H=8.0m) N=40枚 鋼矢板引抜 (H=8.0m) N=62枚 附帯工 1式
請 負 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	円 (円)		
執行方法	請負	施工日数 または 施工期限	令和5年3月31日		
<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1; padding-right: 20px;"> <p>(起工理由)</p> <hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/> </div> <div style="flex: 1; border-left: 1px dashed black; padding-left: 20px;"> <p>前金払 : 40%以内 中間前金払 : 20%以内 部分払 : 2回</p> <hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/><hr/> </div> </div>					

特記仕様書

工 事 名 魚住 10 号線道路改良工事
工 事 場 所 明石市魚住町長坂寺地内
工 期 契約締結日の翌日から令和 5 年 3 月 31 日まで
※ただし、本件にかかる予算について、市議会での次年度への
繰越承認、国庫補助事業などの繰越承認がなされたときは、令
和 5 年 4 月 30 日までとする工期延期を行う予定である。

第 1 条 総則

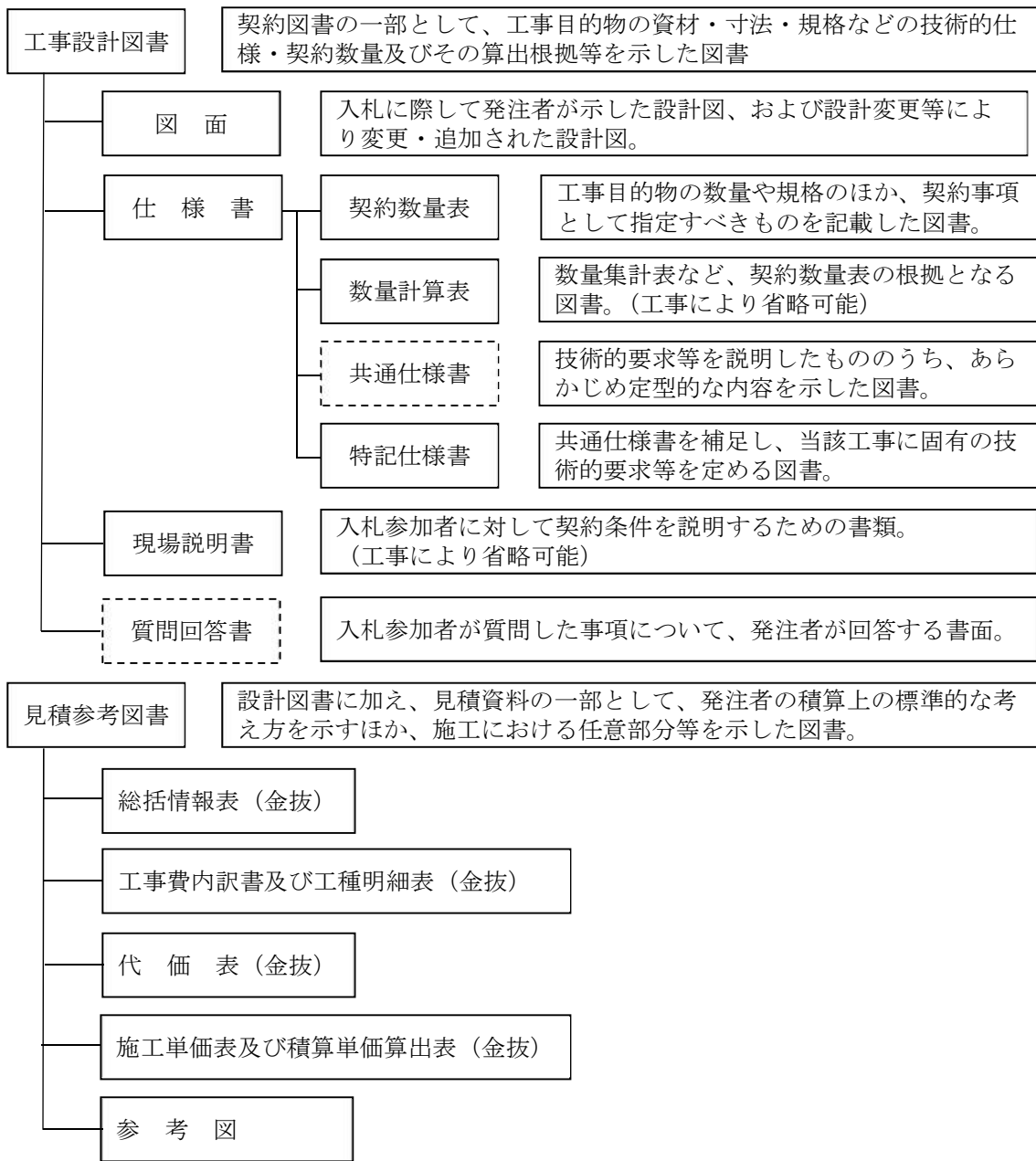
1-1. 適用

本仕様書は、明石市都市局道路安全室道路整備課が発注する、『魚住 10 号線道路改良工事』に適用する。

設計図書に記載されていない事項は、兵庫県土木請負工事必携（令和 3 年 10 月一部改訂版）、兵庫県土木工事共通仕様書（令和 3 年 10 月一部改訂版）、兵庫県土木工事施工管理基準（令和 3 年 10 月一部改訂版）ならびに、「小型構造物標準図集」（平成 30 年 9 月（第 3 回改訂版）兵庫県土木整備部）（以下、「小型図集」と称する。）によるものとする。（その他追加・改訂通知を含む）

1-2. 設計図書

本工事においては、明石市工事請負契約約款第 1 条に規定するものを設計図書とする。
設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款第 1 条でいう設計図書ではない。
従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は本工事の入札（見積日）までとする。



1-3 現場代理人の兼務

本工事については、現場代理人の他工事との兼務を認める。

1-4. 施工範囲に関する留意事項

工事内容のうち、現場条件等（現況地盤の状況等）により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

1-5. 設計図書の照査

受注者は、施工前及び施工途中において、自らの費用負担において設計図書の照査を行い、施工条件と工事現場が一致しない等の事実を発見したときは、監督員にその事実が確認できる資料を書面により提出し、確認を求めなければならない。

1-6. 施工計画書

受注者は、工事着手前に施工計画書を監督員に提出し、監督員の承諾を得た後に着手しなければならない。

1-7. 工事カルテ

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は工事完成後 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。なお、登録内容に訂正が必要な場合は、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、「訂正のための確認のお願い」を作成し、訂正があった日から 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。

変更登録は、工期又は技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金額が 2,500 万円を跨いで変更があった場合には、変更後の請負代金額に則った登録を行うものとする。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

1-8. 施工体制台帳

(施工体制台帳)

施工体制台帳の提出が必要な工事について、受注者は、所定様式 (工事担当技術者) を追加して施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、監督員に提出するものとする。なお、様式には監理技術者、主任技術者 (下請負を含む) 及び元請負の専門技術者 (専任している場合のみ) の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。

下請負に関する契約書の写しは、施工体制台帳に添付するものとし、現地に備え付けるものとする。

(現場の管理)

受注者は監理技術者、主任技術者 (下請負を含む) 及び元請負の専門技術者 (専任している場合のみ) に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

施工体系図は、現地の見やすい場所に掲示すること。

工事関係車両の夜間駐車及び現場外駐車を行わず適切な管理を行うこと。

1-9. 建設副産物

(再生資源の利用の促進)

受注者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達、平成14年5月30日）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

1. 提出様式

本工事については、再生資源の活用に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。

なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会が発行する再生資源利用【促進】計画書（実施書）を使用するものとする。

2. 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、1部は自社で工事間完成後1年間保管し、計画書は1部、実施書は1部と再生資源利用【促進】入力システムを用いて作成した実施書を監督員に提出するものとする。

- ・工事着手前：「再生資源利用促進計画書」

施工計画書に計画書を添付する。

- ・工事完成後：「再生資源利用促進実施書」

書面による計画書・実施書及び実施書を竣工図書として提出する。

(ガラ処分について)

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律「建設リサイクル法」に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

2. アスファルト・コンクリートガラは、中間処理(再資源化)とする。

ガラ運搬については処分地まで直接運搬とする。

又、ガラの運搬に際し、シート等にて飛散しないようにし、一般利用者に迷惑のかからないように留意すること。

交通法規を遵守し、特に過積載のないよう管理すること

特定建設資材廃棄物の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

再資源化等をする施設の名称及び所在地等

特定建設資材廃棄物の種類	土砂
施設の名称	田口建材
運搬距離	6.0km
積算数量	260m ³ 、18m ³
所在地	明石市大久保町松陰 1126-53
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	土砂（小規模）
施設の名称	田口建材
運搬距離	6.0km
積算数量	7m ³ 、9m ³
所在地	明石市大久保町松陰 1126-53
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	石
施設の名称	マツバ商事（株）
運搬距離	15.4km
積算数量	14m ³
所在地	高砂市高砂町字南材木町 43
受入等諸条件	有機物、泥の付着がないこと。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	石（現場制約あり）
施設の名称	明神リサイクルセンター
積算数量	6m ³
運搬距離	6.7km
所在地	神戸市西区平野町中津 1337
受入等諸条件	不純物（ゴミ・草・木屑・廃石膏ボード・石綿製品など）が含まれていないこと。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	コンクリート(鉄筋)
施設の名称	(株)美建
運搬距離	3.7km
積算数量	47m ³
所在地	神戸市西区上新地 3-12-5
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	コンクリート(鉄筋) (小規模)
施設の名称	(株)美建
運搬距離	3.7km
積算数量	1m ³
所在地	神戸市西区上新地 3-12-5
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	コンクリート (無筋)
施設の名称	田口建材 (株)
運搬距離	6.5km
積算数量	10m ³
所在地	明石市大久保町松陰字堂屋敷 342-36
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	アスファルト殻 (小規模)
施設の名称	(株)美建
運搬距離	3.7km
積算数量	0.8m ³
所在地	神戸市西区上新地 3-12-5
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

上表については、積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。

受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

1-10. 段階確認

受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提出し段階確認を受けなければならない。

1-11. 履行報告

受注者は、工事履行報告書を別添の様式に基づき作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出しなければならない。

1-12. 工事中の安全確保

(法令遵守)

受注者は、関係諸法規を遵守し、現場内外の安全管理に万全を期し、工事施工に伴う諸手続きは、受注者の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。

(地下埋設物件の事故防止)

1. 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さを確認し、保安対策について十分打合せを行ない、事故の発生を防止すること。
2. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
3. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占有企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。

(道路付属物ならびに占有物件の処置)

工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占有物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。

1-13. 環境対策

(低騒音型・超低騒音型の使用)

本工事箇所は、特に生活環境を保全する必要がある地域であるので、施工にあたっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定にもとづき指定された建設機械を使用すること。

(排出ガス対策型建設機械)

本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、受注者の都合で調達できない場合を含むものとする。

なお、施工現場において使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ・バックホ ・トラクタショベル (車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機 (可搬式、溶接兼用機含) ・路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付) ・空気圧縮機 (可搬式) ・油圧エット <p>(以下に示す基礎工事用機械のうち、ベームマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧エットを搭載しているもの： 油圧ハンマ、ハイドロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン (エンジン出力 7.5kw 以上、260kw 以下) を搭載した建設機械 に限る</p>

1-14. 交通安全管理

(安全対策費)

安全対策については、交通誘導員を計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合わせの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(安全施設類)

標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(交通誘導員の配置)

1. 交通誘導員については、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果に従い適正に配置し、道路使用許可証（警察署提出）を遵守すること。打ち合わせの結果又は、条件変更に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員 A,B の定義は次のとおり。

交通誘導員 A : 警備業者の警備員（警備業法第 2 条第 4 項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第 1 条第 4 号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員

交通誘導員 B : 警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの。

(交通誘導員の配置)

本工事における交通整理箇所については、作業中は交通誘導員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

【本工事】

施工内容	編成	昼夜間	備考
本工事	交通誘導警備員 B : 7 名	昼間	人数に交替誘導員 1 名含む

【附帯工事】

施工内容	編成	昼夜間	備考
仮設工	交通誘導警備員 B : 7 名	昼間	人数に交替誘導員 1 名含む
仮設工以外	交通誘導警備員 B : 6 名	昼間	人数に交替誘導員 1 名含む

(安全教育・研修訓練)

工事現場における安全対策の重要性に鑑み、全工事・全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。また、実施項目については、施工計画書に本工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

- 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- 2) 当該工事内容等の周知徹底
- 3) 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底

- 4) 当該工事における災害対策訓練
- 5) 当該工事現場で予想される事故対策
- 6) その他、安全・訓練等として必要な事項

安全教育・研修訓練は、工事期間中月1回(半日)以上実施し、監督員に実施状況報告書を提出するものとする。

なお、安全教育・研修訓練に要する必要な費用(労務者の日当)は、現場管理費に含んでいる。

1-15. 諸法令の遵守

(道路法等の遵守)

受注者は、道路法、道路運送車両法及び道路交通法の趣旨に基づき、資材運搬等に必要な車両の諸元について当該法律を遵守しなければならない。

(過積載による違法運行の防止について)

受注者は過積載防止について、その具体的内容を施工計画書に記載するものとする。

(不正軽油の使用の禁止)

1. 受注者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第700条の22の2(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2. 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合には、速やかに是正措置を講じなければならない。

(特殊車両通行許可制度の徹底)

道路法第47条の2に基づく通行許可の確認において、受注者は下記の資料を監督員に提出し、確認を得なければならない。

車両制限令第3条における一般制限値を超える車両について

- ① 施工計画書に一般的制限値を超える車両を記載
- ② 出発地点、走行途中、現場到着地点における写真(荷姿全景、ナンバープレート等通行許可書と照合可能な写真)なお、走行途中の写真撮影が困難な場合は監督員の承諾を得て省略できるものとする。
- ③ 通行許可書の写し
- ④ 夜間通行が条件の場合、車両通行記録計(タコグラフ)の写し

第2条 材料

2-1. 適用

(品質規格)

本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型図集」によるものとする。

2-2. セメントコンクリート製品

本工事に使用するセメントコンクリート製品は、共通仕様書及び「小型図集」によるものとする。なお、「小型図集」に示す構造規格を満足する側溝等の使用に当たっては、監督員の承諾を得て使用することができるものとし、それに係る請負代金の変更は行わないものとする。

第3条 その他

3-1. 産業廃棄物管理票

受注者は、本工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理(再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分)する場合、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されていることを確認するものとする。

3-2. 工事測量

工事着手後直ちに測量を実施し、測量標(仮BM)、用地境界、中心線、縦断、横断等を確認しなければならない。

測量結果が設計図書に示されている数値と差異を生じた場合は速やかに監督員へ報告するとともに、指示を受けること。

3-3. 品質管理

コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下としなければならない。

鉄筋のかぶりを確保するためスペーサーを構造物の側面については1㎡につき2個以上、底面については4個以上設置すること。

レディミクストコンクリートの使用にあたっては、品質確保の観点から、「2017年制定コンクリート標準示方書(施工編)」に基づき、工場を選定すること。

3-4. 写真管理

工事写真の管理については、写真管理基準(土木工事施工管理基準)に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準(案)に準じること。

3-5. 注意事項

- ① 関係各署における各届出書は期限までに必ず提出すること。

- ② 関係機関における連絡は確実に実施すること。特に地元自治会や小学校等において工事のPRを市の監督員と協議し、徹底すること。施工時期、施工方法、施工時間については各関係機関の承諾を得てから施工すること。
- ③ 通学路の安全対策事業を実施するにあたり、通学児童等の交通安全を確保すると共に小学校と密に連絡調整を行うこととする。
- ④ 民地との取り合い部において、隣接者と高さ等の調整が発生する場合は、各隣接者に個別に対応を行うこと。
- ⑤ 各工事中のすりつけ及び段差表示等安全対策は、特に徹底すること。民地や現道とのすりつけは入念に行うものとし、段差が生じる場合には、注意看板の設置や夜間照明等の安全対策を行うこと。
- ⑥ 工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置を徹底すること。
- ⑦ 本工事の施工上知り得た情報を他人に漏らしたり、利用したりしてはならない。
- ⑧ 各工種においては、現地の状況等により数量変更の可能性があることを認識し、変更が生じた場合は監督員と協議し速やかに対応すること。
- ⑨ 最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。
- ⑩ 設計図書に変更が生じた場合や、その他地元協議等によるものも含め変更に伴う測量・施工図面の修正・新規追加及び数量計算については、受注者の負担により行うものとする。
- ⑪ 工事完了時、出来形成果表及び完成図面を紙ベース（1部）並びに電子データにて監督職員へ提出するものとする。
- ⑫ 公共基準点の有無について確認し、監督職員に報告すること。公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。
- ⑬ 施工の影響でやむを得ず官民境界標を亡失した場合は、必ず復旧すること。
- ⑭ 安全施設類においては、周辺住民の生活環境への配慮をすること。
- ⑮ 受注者は施工に際し周辺構造物等の保全について十分配慮し、事前、事後の確認を行い、損傷を及ぼした場合は、受注者の責において真摯に対応し、原形復旧すること。
- ⑯ 魚住10号線は、たこバスの運行ルートとなっている。工種によっては、車道を一時通行止めにする可能性があるが、たこバスの運行に支障がでない施工計画とすること。
- ⑰ プレキャストL型擁壁を据え付ける前に、地盤支持力が必要地耐力の160kN/m²以上であることを平板載荷試験により確認し、監督員に報告すること。
- ⑱ 門脇邸と光荘について、防塵対策として施工ヤードとの境界付近にオレンジフェンス等を設置すること。費用については、共通仮設費率に含まれるものとする。
- ⑲ VUφ100の施工について、施工後の仕上げとして土間コンクリートを計上している。

地権者等の協議の結果、施工面積に変更が生じる可能性がある。その場合、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。

- ⑳ 転落防止柵設置について、KPT-1106W で積算しているが、製品を指定するものではなく、他製品の採用を妨げるものではない。なお、施工に際しては KPT-1106W 同等品以上のものを使用するものとし、設計変更の対象とはしない。
- ㉑ 鋼矢板を引き抜いた後は、速やかに砂（水締め）により間詰めを行うこと。また、「施工 第 0-0086 号内訳表 水締め」について、1m³ 当り、普通作業員 0.05 人、砂 1.1m³ で積算している。

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
本工事費					
道路改良					
道路土工					
掘削工					
掘削		式		1	
掘削	土砂 上記以外(小規模)	m3		7	
路体盛土工					
路体(築堤)盛土		式		1	
路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3		9	
作業土工					
床掘り		式		1	
床掘り					
埋戻し		式		1	
埋戻し					
埋戻し					
基面整正		式		1	
基面整正					
残土処理工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
土砂等運搬		式		1	
土砂等運搬					
土砂等運搬					
残土等処分		式		1	
処分費					
処分費					
擁壁工					
プレキャスト擁壁工					
プレキャスト擁壁		式		1	
プレキャスト擁壁設置	擁壁高->2.0mを超え3.5m以下(各種)	m		2	
プレキャスト擁壁設置	擁壁高->3.5mを超え5.0m以下(各種)	m		17	
転落防止柵付きL型擁壁	H3470/3529×2500×2000	個		1	
転落防止柵付きL型擁壁	H3529/3587×2500×2000	個		1	
転落防止柵付きL型擁壁	H3587/3646×2600×2000	個		1	
転落防止柵付きL型擁壁	H3646/3704×2650×2000	個		1	
転落防止柵付きL型擁壁	H3704/3763×2650×2000	個		1	
転落防止柵付きL型擁壁	H3763/3821×2700×2000	個		1	
転落防止柵付きL型擁壁	H3821/3880×2700×2000	個		1	

契約数量表

頁0-0003/0011

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
転落防止柵付きL型擁壁	H3880/3938×2750×2000	個		1	
転落防止柵付きL型擁壁	H3938/3997×2750×2000	個		1	
転落防止柵付きL型擁壁	H3997/4040×2750×1473	個		1	
排水構造物工					
管渠工					
暗渠排水管		式		1	
裏込め排水工A		m		24	
裏込め排水工B		m		15	
構造物撤去工					
防護柵撤去工					
防護柵(横断・転落防止柵)撤去		式		1	
横断・転落防止柵撤去工	コンクリート建込ビーム・パネル式 支柱間隔 3.0m	m		21	
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し		式		1	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		47	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3		10	
かご撤去工					
ふとんかご撤去		式		1	

契約数量表

頁0-0004/0011

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
ふとんかご	作業区分->撤去(階段式)	m		20	
大型土のう撤去工					
大型土のう		式		1	
大型土のう撤去		袋		18	
運搬処理工					
殻運搬		式		1	
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし	m3		47	
殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とりこわし	m3		10	
土砂等運搬	土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		18	
土砂等運搬	土質->硬岩	m3		14	
殻処分		式		1	
処分費	コンクリート殻(鉄筋)	式		1	
処分費	コンクリート殻(無筋)	式		1	
処分費	土 砂	式		1	
処分費	石	式		1	
仮設工					
土留・仮締切工					
鋼矢板		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板圧入					
油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板圧入					
油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板引抜					
油圧式杭圧入引抜機据付解体					
油圧式杭圧入引抜機据付解体					
鋼矢板賃料					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B					
舗装					
防護柵工					
防止柵工					
転落(横断)防止柵		式		1	
横断・転落防止柵設置工 [コンクリート建込]	転落防止柵（景観塗装）	m		25	
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)	削孔径->100mm以上110mm未満	孔		2	
仮設材運搬費		式		1	
仮設材等の積込み・取卸し					
仮設材等の運搬					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
附帯工事費(1)					
道路改良					
道路土工					
作業土工					
床掘り		式		1	
床掘り					
埋戻し		式		1	
埋戻し					
埋戻し					
残土処理工					
土砂等運搬		式		1	
土砂等運搬					
残土等処分		式		1	
処分費					
排水構造物工					
側溝工					
プレキャストU型側溝		式		1	
PU側溝工	150×150	m		6	

契約数量表

頁0-0008/0011

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
管渠工					
暗渠排水管		式		1	
硬質塩化ビニル管布設工	VP φ 150	m		5	
硬質塩化ビニル管布設工	VU φ 100	m		27	
鉄筋コンクリート台付管		式		1	
重圧管(1種)	φ 200	m		2	
集水桝・マンホール工					
現場打ち集水桝		式		1	
集水桝1		箇所		1	
集水桝2		箇所		1	
集水桝・マンホール基礎		式		1	
会所桝	プレキャスト300×300	箇所		2	
ます設置工	ます径 150mm, 設置なし	箇所		4	
土間コンクリート					
土間コンクリート		式		1	
土間コンクリート	t=10cm	m2		11	
構造物撤去工					
構造物取壊し工					

契約数量表

頁0-0009/0011

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
コンクリート構造物取壊し		式		1	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		1	
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		23	
舗装版破碎		式		1	
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2		15	
石積撤去		式		1	
床掘り	岩塊・玉石 現場制約あり	m3		6	
運搬処理工					
殻運搬		式		1	
殻運搬	舗装版破碎	m3		0.8	
土砂等運搬	土質->軟岩	m3		1	
土砂等運搬	土質->軟岩	m3		6	
殻処分		式		1	
処分費	アスファルト殻	式		1	
処分費	コンクリート殻(鉄筋)	式		1	
処分費	石	式		1	
仮設工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
土留・仮締切工					
鋼矢板		式		1	
プレボーリング					
プレボーリング					
水締め					
舗装					
道路土工					
路床盛土工					
路床盛土		式		1	
路床盛土	2.5m以上4.0m未満	m3		10	
舗装工					
舗装準備工					
不陸整正		式		1	
不陸整正	補足材料->有り(29mm以上34mm未満)	m2		9	
アスファルト舗装工					
上層路盤(車道・路肩部)		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		2	
表層(車道・路肩部)		式		1	

数量総括表

工事名： 魚住10号線道路改良工事					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	設計表示数量	摘要
道路改良					
本體工					
道路土工					
掘削（土砂）	オープン	m3	7.8	7	
盛土	2.5m未満	m3	9.9	9	購入土(RC-40)
残土		m3	7.8	7	
作業土工					
床堀		m3	286.1	280	
埋戻	1.0~4.0m	m3	216.5	210	購入土(RC-40)
埋戻	1.0m未満	m3	17.6	10	現地発生土
残土		m3	266.6	260	※床堀-埋戻/0.9
基面整正		m2	53.7	50	
擁壁工					
プレキャスト擁壁工					
プレキャストL型擁壁	プレキャスト擁壁高さ 2.0mを超え3.5m以下	m	2.0	2	
"	プレキャスト擁壁高さ 3.5mmを超え5.0m以下	m	17.5	17	
排水構造物工					
裏込め排水工					
裏込め排水工 A	500×500	m	24.0	24	有孔管φ200
裏込め排水工 B	500×500	m	15.0	15	
防護柵工					
防止柵工					
転落防止柵		m	25.3	25	
支柱建込みコア削孔	φ100mm	箇所	2.0	2	
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
鉄筋コンクリート構造物取壊し	鉄筋	m3	47.6	47	
ブロック積み取壊し	無筋	m3	10.2	10	
鉄筋コンクリート殻処分		m3	47.6	47	
無筋コンクリート殻処分		m3	10.2	10	
かご撤去工	ふとんかご	m	20.4	20	
石処分	ふとんかご	m3	14.7	14	

数量総括表

工事名： 魚住10号線道路改良工事					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	設計表示数量	摘要
大型土のう撤去工		袋	18	18	
土のう処分		m ³	18	18	
転落防止柵		m	21.0	21	
仮設工					
土留工					
鋼矢板	SP-Ⅲ型、L=8.5m	枚	60	60	30,600.0 kg
コーナー鋼矢板	SP-CⅢ型、L=8.5m	枚	2	2	1,062.5 kg
鋼矢板圧入	L=7.5m	枚	22	22	
	L=8.0m	枚	40	40	
鋼矢板引抜き	L=8.0m	枚	62	62	
技術管理費					
地質調査費					
平板載荷試験		箇所	1.0	1	
附帯工					
作業土工					
床堀		m ³	12.1	10	
埋戻	RC-40	m ³	2.3	2	
埋戻	発生土	m ³	2.6	2	
残土		m ³	9.3	9	
排水構造物工					
側溝工					
PU側溝工	150×150	m	6.8	6	
暗渠工					
VP管	φ150	m	5.0	5	
VU管	φ100	m	27.1	27	
重圧管	φ200	m	2.0	2	
集水枡工					
集水枡1	300×300	箇所	1.0	1	
集水枡2	300×300	箇所	1.0	1	
会所枡	300×300	箇所	2.0	2	
枡	φ150	箇所	4.0	4	

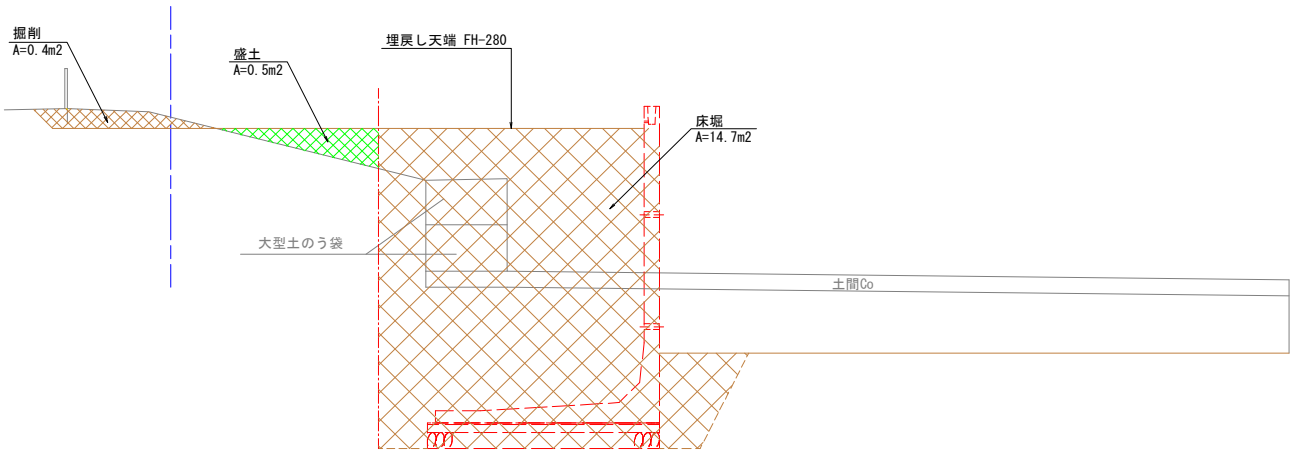
数量総括表

工事名： 魚住10号線道路改良工事					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	設計表示数量	摘要
土間コンクリート工					
土間コンクリート	t=10cm	m2	11.1	11	
舗装工					
砕石舗装工					
路盤工（砕石敷）	RC-40、t=10cm	m3	18.5	10	
アスファルト舗装工					
上層路盤工		m2	2.4	2	
仮復旧		m2	6.2	6	
不陸整正	補充材あり	m2	9.0	9	
表層工		m2	9.0	9	
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
舗装版切断		m	23.3	23	
舗装版取壊し		m2	15.8	15	
アスファルト殻処分		m3	0.8	0.8	
鉄筋コンクリート構造物取壊し	土間コンクリート	m3	1.1	1	
鉄筋コンクリート殻処分		m3	1.1	1	
石積		m3	6.7	6	
石処分		m3	6.7	6	
仮設工					
土留工					
プレボーリング	φ500、L=7.5m	本	18	18	
	φ500、L=8.0m	本	31	31	
水締め	砂	m3	24.8	24	

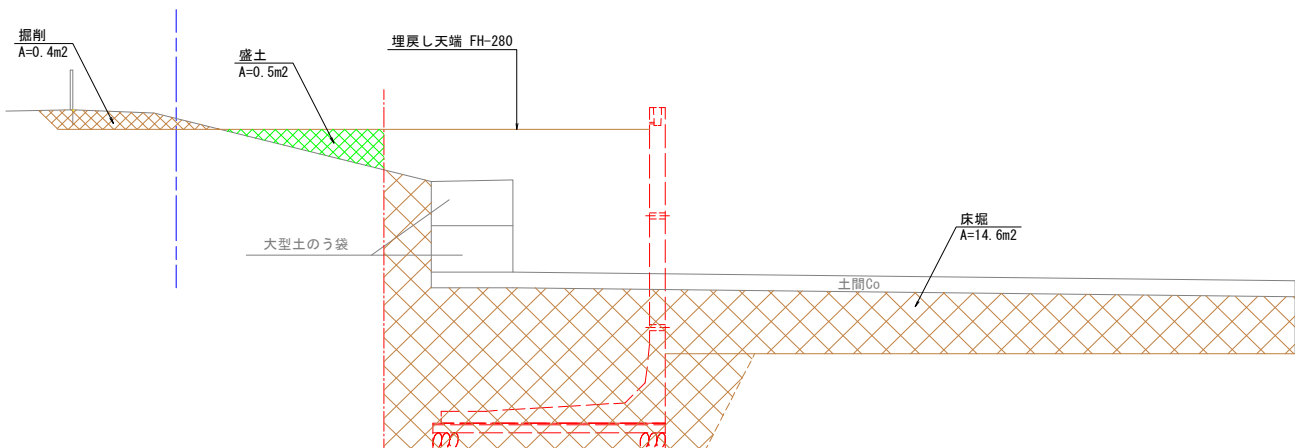
本 体 工

1. 土工

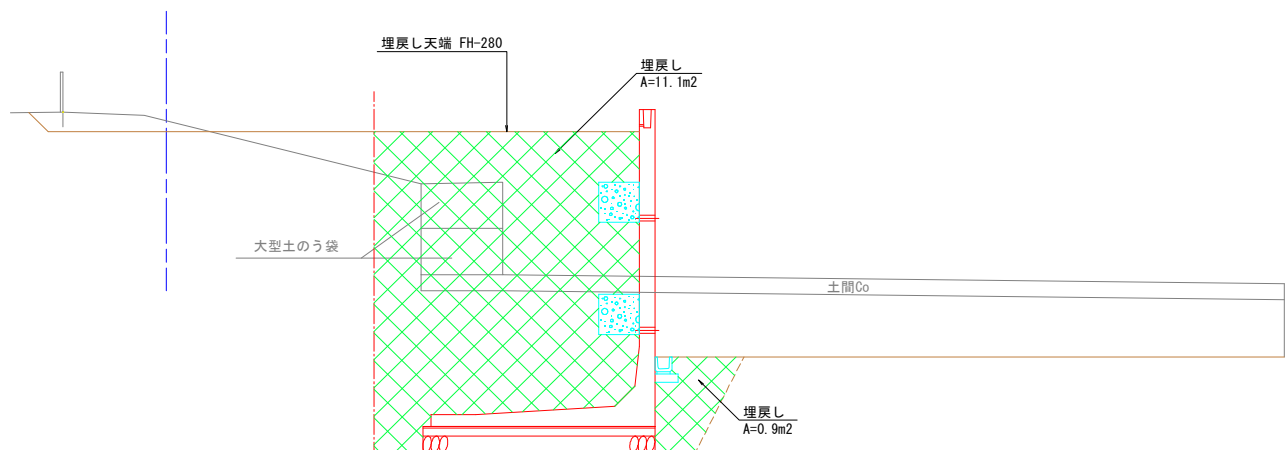
No. 28+3.4~No. 28+14.5 (門脇邸前)



No. 28+14.5~No. 29+2.9 (光荘前)



埋戻し No. 28+3.4~No. 29+2.9



土 工 数 量 計 算 書

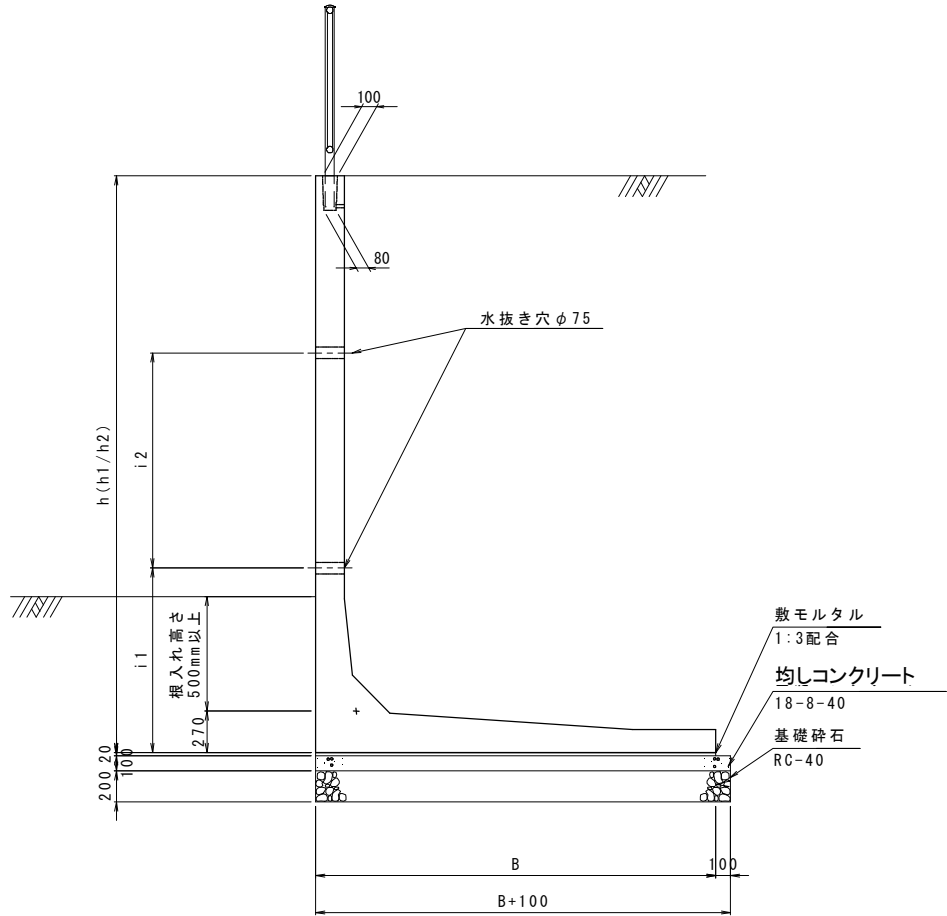
測 点	距 離 (m)	掘削			路床盛土						摘 要
					(2.5m未満)						
		面 積 (m ²)	平均面積(m ²)	体 積 (m ³)	面 積 (m ²)	平均面積(m ²)	体 積 (m ³)				
No. 28+ 3.4		0.40			0.50						
No. 28+14.5	11.100	0.40	0.40	4.4	0.50	0.50	5.6				
No. 29+0.0	5.500	0.40	0.40	2.2	0.50	0.50	2.8				
No. 29+ 2.9	2.900	0.40	0.40	1.2	0.50	0.50	1.5				
合 計				7.8			9.9			0.0	

土工数量計算書

測 点	距 離 (m)	床堀			埋戻し(購入土) (1.0~4.0m)			埋戻し(現地発生土) (1.0m未満)			摘 要
		面 積 (m ²)	平均面積(m ²)	体 積 (m ³)	面 積 (m ²)	平均面積(m ²)	体 積 (m ³)	面 積 (m ²)	平均面積(m ²)	体 積 (m ³)	
		No. 28+ 3.4		14.70			11.10			0.90	
No. 28+14.5	11.100	14.70	14.70	163.2	11.10	11.10	123.2	0.90	0.90	10.0	
No. 28+14.5	0.000	14.60			11.10			0.90			
No. 29+0.0	5.500	14.60	14.65	80.6	11.10	11.10	61.1	0.90	0.90	5.0	
No. 29+ 2.9	2.900	14.60	14.60	42.3	11.10	11.10	32.2	0.90	0.90	2.6	
合 計				286.1			216.5			17.6	

2. プレキャストL型擁壁工

標準断面図
(転落防止柵取付型)



名称	種別				単位	数量
[1] 本体工						
製品	H4.000	B2.750	L5.479	目地含む	本	3
	H3.900	B2.700	L4.006	目地含む	本	2
	H3.800	B2.650	L4.006	目地含む	本	2
	H3.700	B2.600	L2.003	目地含む	本	1
	H3.600	B2.500	L4.006	目地含む	本	2
合計	L19.500 m (基礎延長)				本	10
[2] 基礎工						
敷モルタル	$V_h = 0.020$	\times	B	\times	L	
1:3 配合	$V_{4.000} = 0.020$	\times	2.750	\times	5.479	$= 0.301$ m ³
	$V_{3.900} = 0.020$	\times	2.700	\times	4.006	$= 0.216$ m ³
	$V_{3.800} = 0.020$	\times	2.650	\times	4.006	$= 0.212$ m ³
	$V_{3.700} = 0.020$	\times	2.600	\times	2.003	$= 0.104$ m ³
	$V_{3.600} = 0.020$	\times	2.500	\times	4.006	$= 0.200$ m ³
合計					1.033	m ³ 1.0

名 称	種 別					単 位	数 量
均しコンクリート	$V_h = 0.100 \times (B+0.1) \times L$						
18-8-40	$V4.000 = 0.100 \times 2.850 \times 5.479$				$= 1.562$	m^3	
	$V3.900 = 0.100 \times 2.800 \times 4.006$				$= 1.122$	m^3	
	$V3.800 = 0.100 \times 2.750 \times 4.006$				$= 1.102$	m^3	
	$V3.700 = 0.100 \times 2.700 \times 2.003$				$= 0.541$	m^3	
	$V3.600 = 0.100 \times 2.600 \times 4.006$				$= 1.042$	m^3	
合計					5.369	m^3	5.4
型枠	$A_h = 0.100 \times 2 \times L$						
均しコンクリート用	$A4.000 = 0.100 \times 2 \times 5.479$				$= 1.096$	m^2	
	$A3.900 = 0.100 \times 2 \times 4.006$				$= 0.801$	m^2	
	$A3.800 = 0.100 \times 2 \times 4.006$				$= 0.801$	m^2	
	$A3.700 = 0.100 \times 2 \times 2.003$				$= 0.401$	m^2	
	$A3.600 = 0.100 \times 2 \times 4.006$				$= 0.801$	m^2	
合計					3.900	m^2	3.9
基礎砕石	$V_h = (B+0.1) \times L$						
RC-40	$V4.000 = 2.850 \times 5.479$				$= 15.615$	m^2	
	$V3.900 = 2.800 \times 4.006$				$= 11.217$	m^2	
	$V3.800 = 2.750 \times 4.006$				$= 11.017$	m^2	
	$V3.700 = 2.700 \times 2.003$				$= 5.408$	m^2	
	$V3.600 = 2.600 \times 4.006$				$= 10.416$	m^2	
合計					53.673	m^2	53.7
基面整正					53.673	m^2	53.7

3. 排水構造物工

1) 裏込め排水工A

$$L = 12.0 \times 2 = 24.0 \text{ (m)}$$

2) 裏込め排水工B

$$L = 7.5 \times 2 = 15.0 \text{ (m)}$$

4. 舗装工

1) 転落防止柵工

$$L = 25.3 \text{ (m)}$$

2) 支柱建込みコア削孔 $\phi 100\text{mm}$

$$N = 2.0 \text{ (箇所)}$$

5. 土留め工

(a) 鋼材 重量総括表

種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位重量 (kg/m)	数量 (個,本)	全重量 (kg)	材質	摘要
鋼矢板	SP-Ⅲ型	8.500	60.0	60	30,600.0	SY295	
コーナー鋼矢板	SP-CⅢ型	8.500	62.5	2	1,062.5	〃	
計				62	31,662.5		

(b) 鋼矢板圧入長および最大N値

矢板長さ (m)	圧入長 (m)	枚数 (枚)	摘要
8.50	7.50	22	最大N値=46
8.50	8.00	40	最大N値=46

(c) 鋼矢板引抜き長

矢板長さ (m)	引抜き長 (m)	枚数 (枚)	摘要
8.50	8.00	62	

(d) 鋼材 撤去重量表

種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位重量 (kg/m)	数量 (個,本)	全重量 (kg)	材質	摘要
鋼矢板	SP-Ⅲ型	8.500	60.0	60	30,600.0	SY295	
コーナー鋼矢板	SP-CⅢ型	8.500	62.5	2	1,062.5	〃	
計				62	31,662.5		

(e) プレボーリング数量 (附帯工)

掘削径 (mm)	打ち込み長 (m)	本数 (本)	摘要
φ 500	7.50	18	最大N値=46
φ 500	8.00	31	最大N値=46

(f) 水締め数量 (附帯工)

種別	数量 (m ³)	摘要
水締め (砂)	24.8	V=0.40×0.125×8.0×62枚

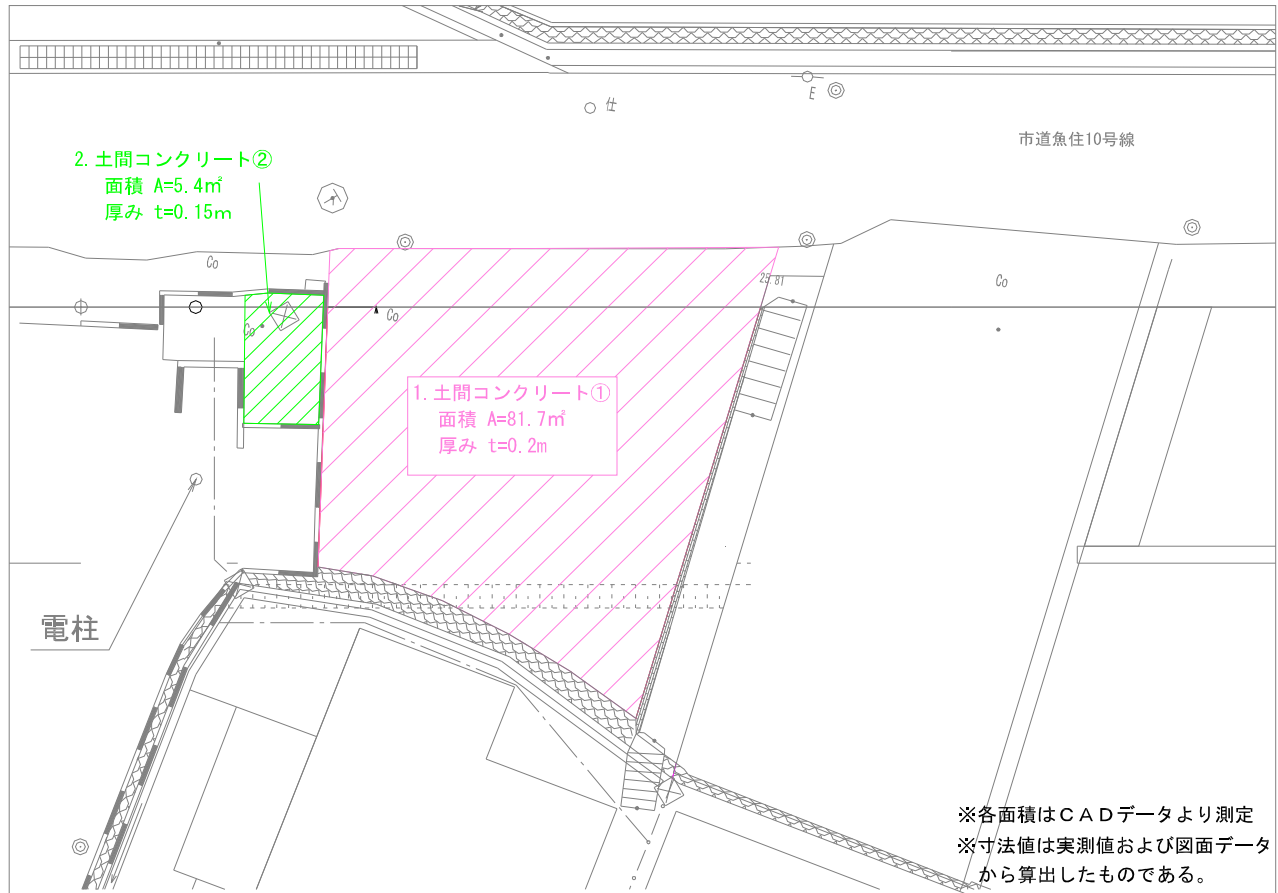
6. 撤去数量

数量集計表

名 称	形状・規格	単位	門脇邸前	階段・通路部	光荘前	合 計
土間コンクリート		m3	17.2	9.7	20.7	47.6
ブロック積		m3	10.2	-	-	10.2
石積		m3	4.3	-	2.4	6.7
鉄筋コンクリート殻処分	土間コンクリート	t	42.9	24.3	51.8	119.0
無筋コンクリート殻処分	ブロック積	t	24.0	-	-	24.0
石積処分	石積	t	11.1	-	6.2	17.3
かご撤去工	ふとんかご	m	-	-	-	20.4
大型土のう		個	-	-	-	18.0
転落防止柵		m	-	-	-	21.0

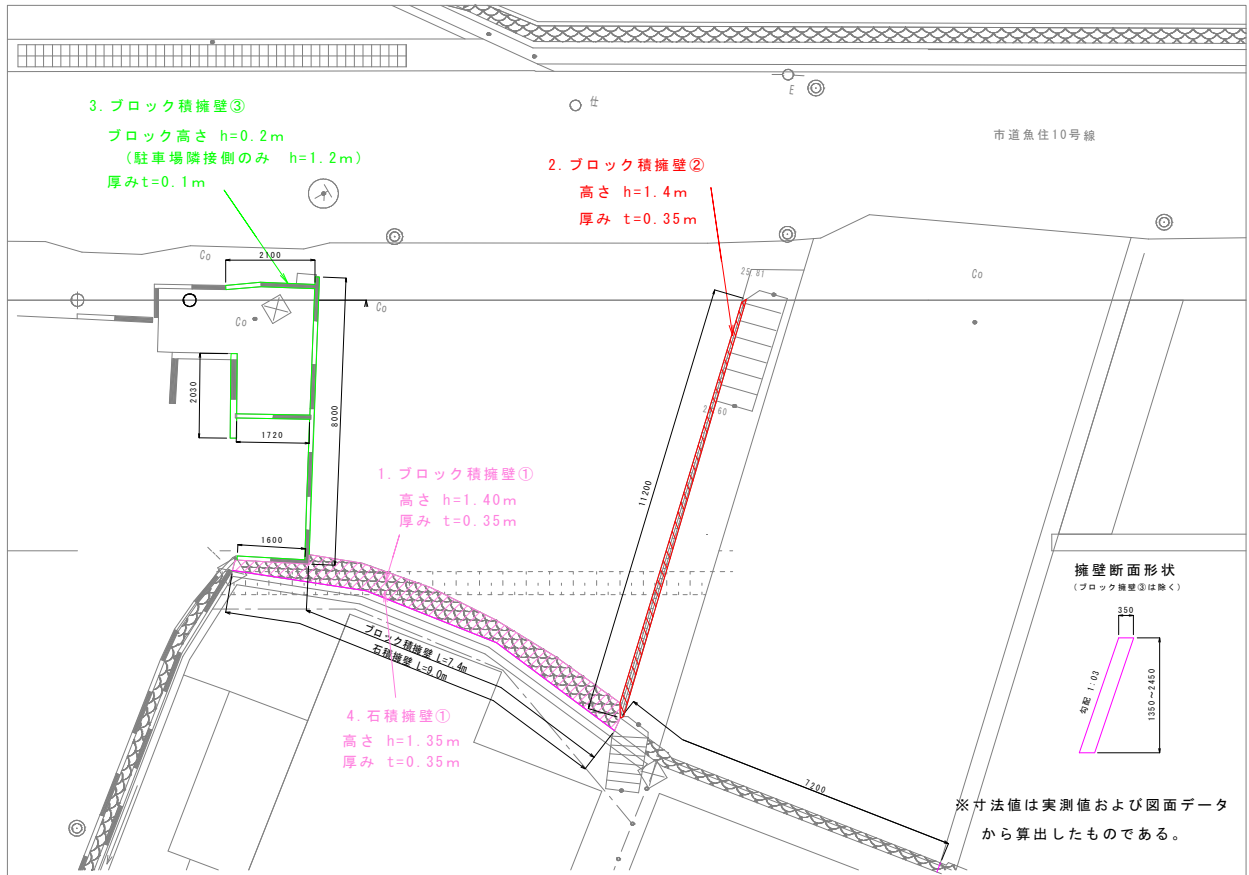
※石積、石積処分は附帯工とする。

土間コンクリート撤去



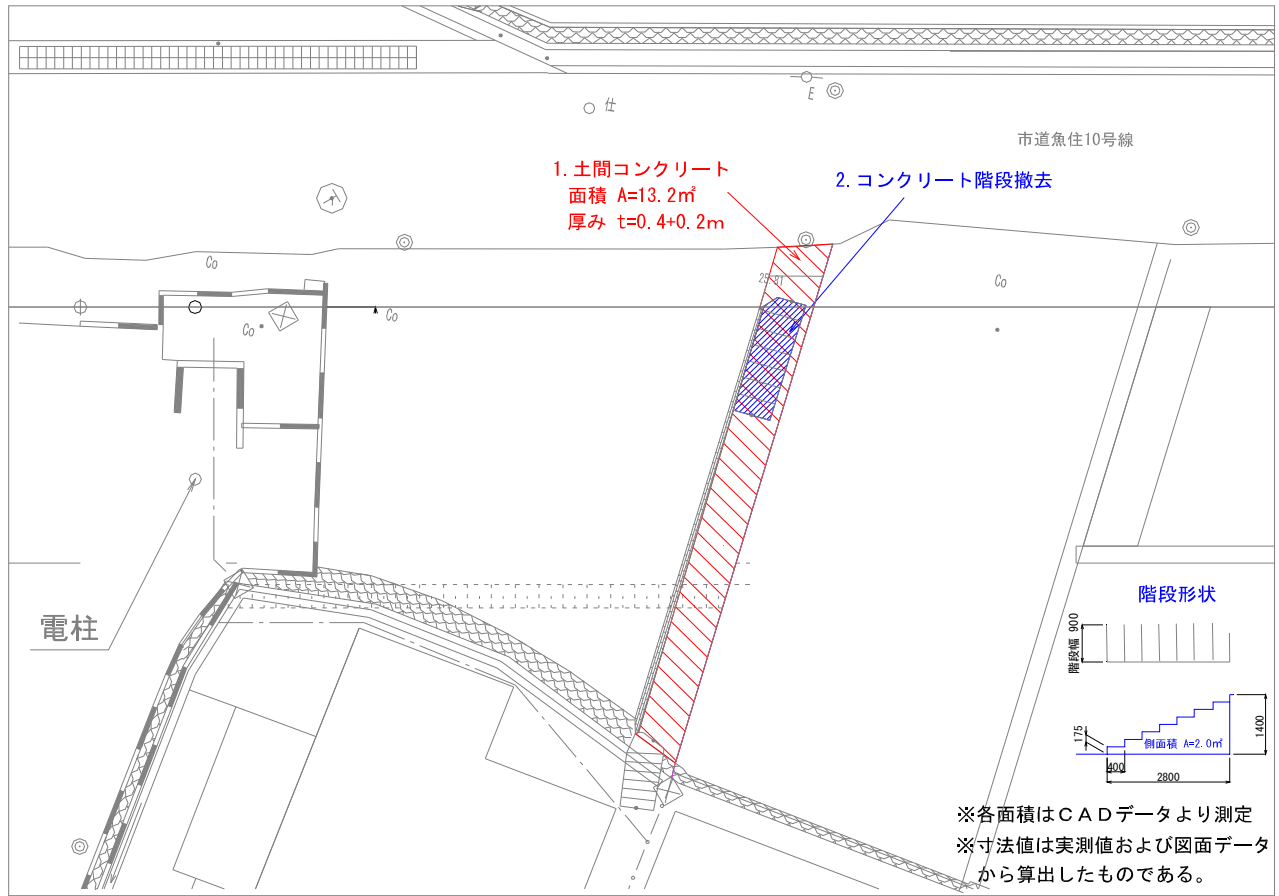
名 称	計 算 式	単 位	数 量
構造物とりこわし工 土間コンクリート	1. 土間コンクリート① $V1 = 81.70 \times 0.20$	= 16.34 m ³	
	2. 土間コンクリート② $V2 = 5.40 \times 0.15$	= 0.81 m ³	
	合計	= 17.15 m ³	17.2
コンクリート殻処理	鉄筋コンクリート (殻運搬含む) 構造物とりこわし工 土間コンクリート数量より	$V = 17.15$ m ³	17.2
	参考重量 $W = 17.15 \times 2.50$ t/m ³	= 42.88 t	42.9

ブロック積擁壁撤去



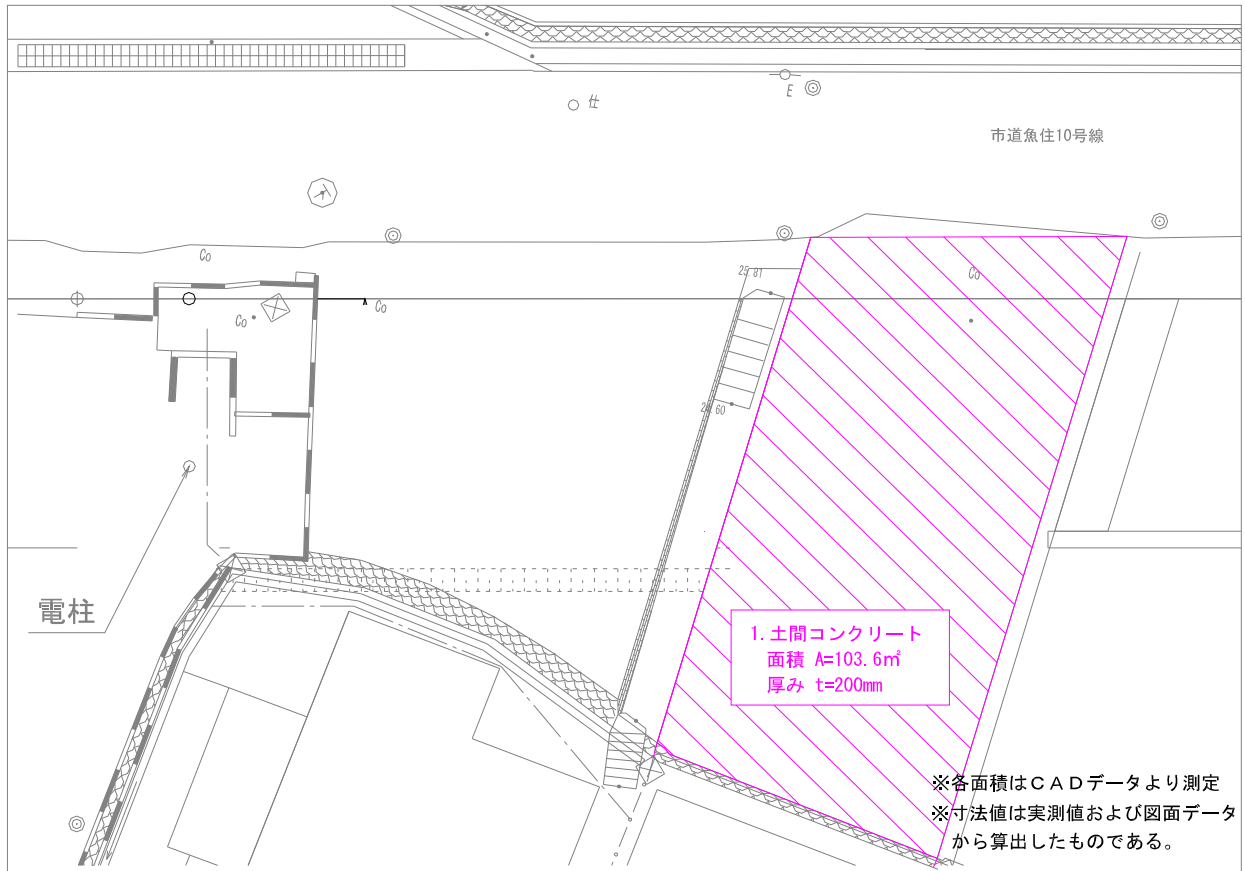
名称	計 算 式	単位	数 量
構造物とりこわし工 ブロック積擁壁	1. ブロック積擁壁① $V1 = 1.40 \times 0.35 \times 7.40 = 3.63$	m^3	
	2. ブロック積擁壁② $V2 = 1.40 \times 0.35 \times 11.20 = 5.49$	m^3	
	3. ブロック積擁壁③ $V3 = 0.20 \times 0.10 \times (2.10 + 2.03 + 1.72 + 1.60) + 1.20 \times 0.10 \times 8.00 = 1.11$	m^3	
	合計 = 10.23	m^3	10.2
石積擁壁	1. 石積擁壁① $V1 = 1.35 \times 0.35 \times 9.00 = 4.25$	m^3	4.3
コンクリート殻処理	無筋コンクリート (殻運搬含む) 構造物とりこわし工 ブロック積擁壁数量より $V = 10.23$	m^3	10.2
	参考重量 $W = 10.23 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 24.04$	t	24.0
石積処理	石積 (殻運搬含む) 構造物とりこわし工 石積擁壁数量より $V = 4.25$	m^3	4.3
	参考重量 $W = 4.25 \times 2.60 \text{ t/m}^3 = 11.05$	t	11.1

土間コンクリート・コンクリート階段撤去



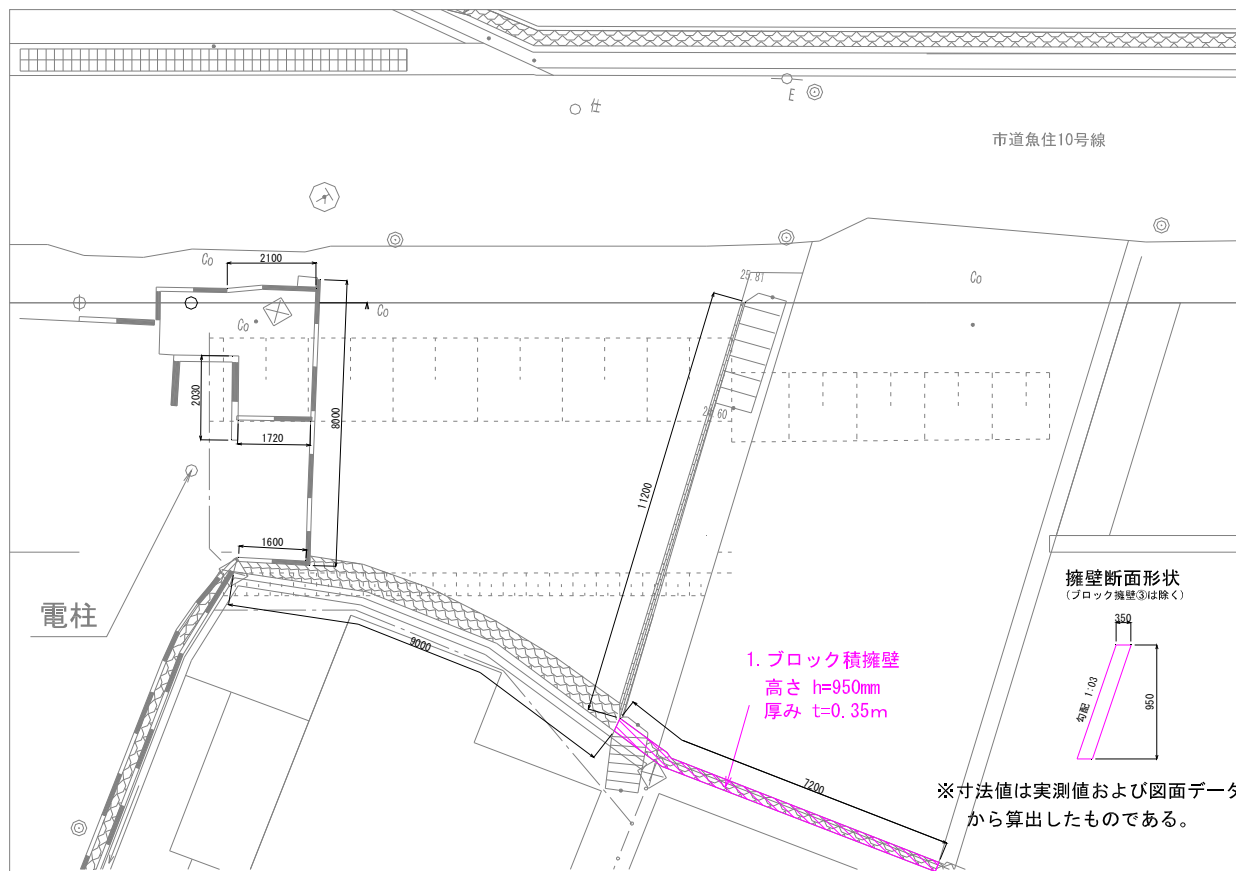
名称	計 算 式	単位	数 量	
構造物とりこわし工 土間コンクリート	1. 土間コンクリート $V1 = 13.20 \times (0.20 + 0.40)$	$= 7.92$	m^3	
	2. コンクリート階段 $V2 = 2.00 \times 0.90$	$= 1.80$	m^3	
	合計	$= 9.72$	m^3	9.7
コンクリート殻処理	鉄筋コンクリート（殻運搬含む） 構造物とりこわし工より	$V = 9.72$	m^3	9.7
	参考重量 $W = 9.72 \times 2.50 \text{ t/m}^3$	$= 24.30$	t	24.3

土間コンクリート撤去



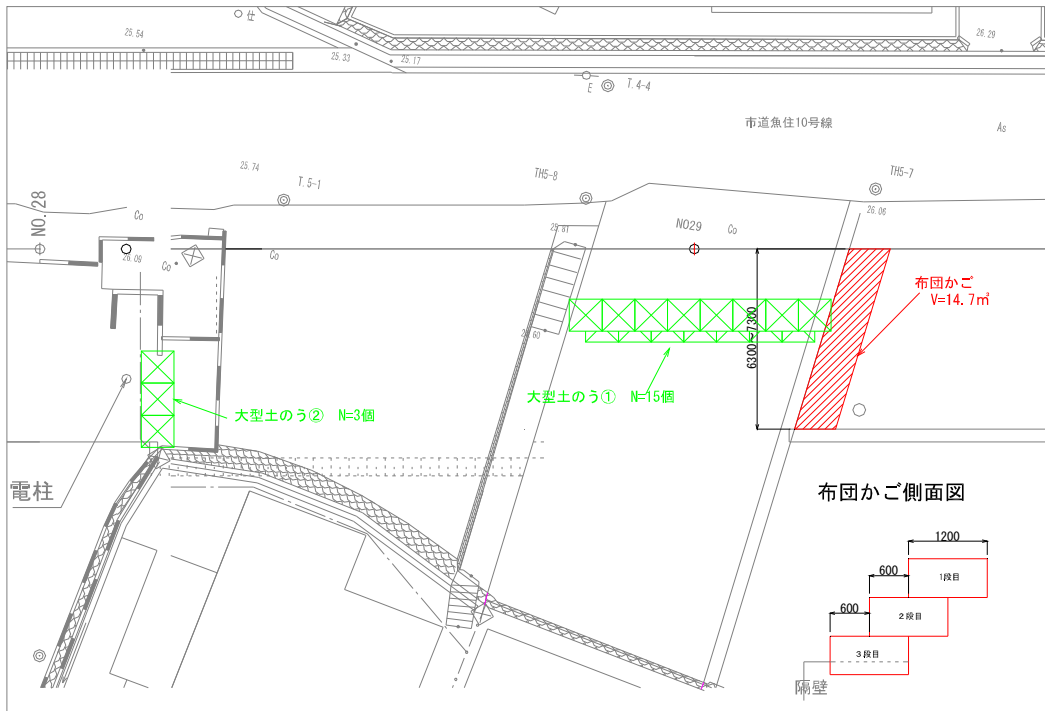
名 称	計 算 式	単 位	数 量
構造物とりこわし工 土間コンクリート	1. 土間コンクリート① $V1 = 103.60 \times 0.20$		
	合計	$= 20.72$ $= 20.72$	m^3 m^3 20.7
コンクリート殻処理	鉄筋コンクリート（殻運搬含む） 構造物とりこわし工 土間コンクリート数量より	$V = 20.72$	m^3 20.7
	参考重量	$W = 20.72 \times 2.50$	t/m^3 t
		$= 51.80$	51.8

ブロック積擁壁撤去



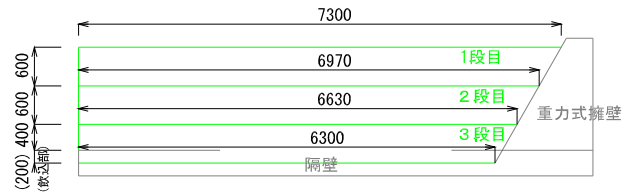
名称	計 算 式	単位	数 量
構造物とりこわし工 石積擁壁	1. 石積擁壁① $V1 = 0.95 \times 0.35 \times 7.20$ 合計 = 2.39	m^3	2.4
石積処理	石積 (殻運搬含む) 構造物とりこわし工 石積擁壁数量より $V = 2.39$ 参考重量 $W = 2.39 \times 2.60 \text{ t}/m^3$	m^3 t	2.4 6.2

大型土のう・布団かご撤去



布団かご側面図

布団かご正面図



名称	計 算 式	単位	数 量
撤去工 布団かご	延長 $L = ((7.30 + 6.97) + (6.97 + 6.63) + (6.63 + 6.30)) / 2 = 20.40$ 体積 1段目 $V1 = ((7.30 + 6.97) \times 0.60 / 2) \times 1.20 = 5.14$ 2段目 $V2 = ((6.97 + 6.63) \times 0.60 / 2) \times 1.20 = 4.90$ 3段目 $V3 = ((6.63 + 6.30) \times 0.60 / 2) \times 1.20 = 4.65$ 合計 $= 14.69$	m m ³ m ³ m ³ m ³	20.4 14.7
大型土のう	$N = 15 + 3 = 18$	個	18.0
残土処理	布団カゴ 撤去工 体積数量より $V = 14.69$ 大型土のう 1個あたり1m ³ とする 撤去工 数量より $V = 18 \times 1.00 = 18.00$	m ³ m ³	14.7 18.0

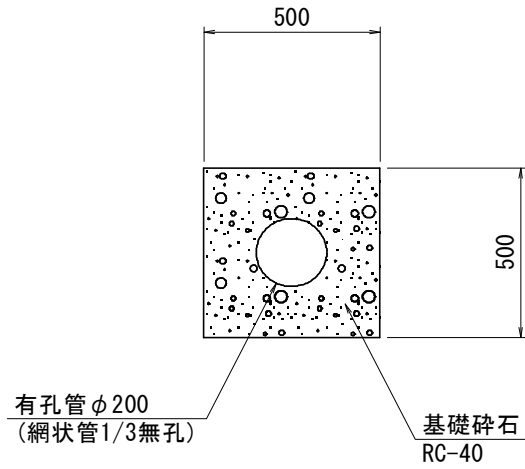
構造物撤去		撤去数量⑦ その他		1式当り	
名 称	計 算 式			単 位	数 量
撤去工 転落防止柵	延長 $L = 14.0 + 7.0 = 21.0$			m	21.0

材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称 : 裏込め排水工 A

10 m当り



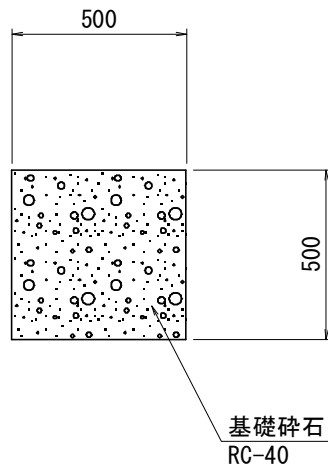
名 称	規格・形状	算 式	単 位	数 量
フィルター層	RC-40	$V = (0.500 \times 0.500 - 1/4\pi \times 0.200 \times 0.200) \times 10.00$	m ³	2.19
有孔管	φ200 (網状管1/3無孔)	$N = 10.00 \div 4.000$	本	2.50

材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称 : 裏込め排水工 B

10 m当り



名 称	規格・形状	算 式	単 位	数 量
フィルター層	RC-40	$V = 0.500 \times 0.500 \times 10.00$	m ³	2.50

材 料 計 算 書

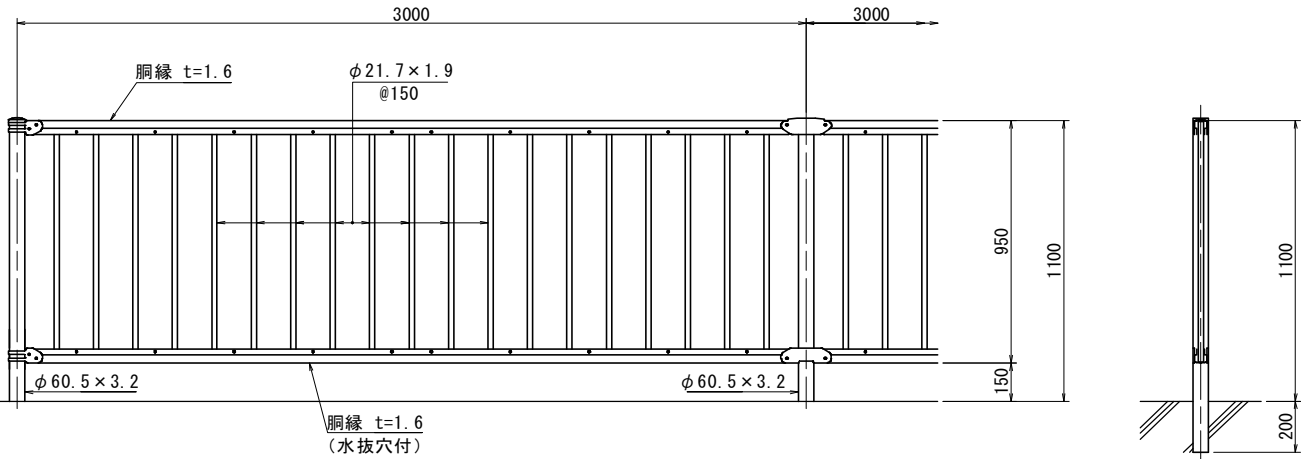
算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称： 転落防止柵（コンクリート建込用）H=1100

10 m当り

正 面 図

断 面 図



名 称	規格・形状	算 式	単 位	数 量
転落防止柵	コンクリート建込用 H=1100	$L = 10.00$	m	10.0
無収縮モルタル		$V = \left(\frac{1}{2} \times \left(0.140 \times 0.100 + 0.100 \times 0.080 \right) \times 0.225 - \frac{1}{4} \times \pi \times 0.061^2 \times 0.200 \right) \times 10.00$	m ³	0.019

附 帶 工

1. 土工

土工数量計算書

測点	距離 (m)	床掘		埋戻し		埋戻し		残土処分		摘要
				再生切込砕石		発生土				
		10mor10 箇所当り (m ³)	体積 (m ³)	10mor10 箇所当り (m ³)	体積 (m ³)	10mor10 箇所当り (m ³)	体積 (m ³)	10mor10 箇所当り (m ³)	体積 (m ³)	
PU側溝	6.800	0.00	0.00		0.00	0.0	0.00		0.00	
集水枿1	1.000	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00		0.00	
集水枿2	1.000	12.15	1.22	6.37	0.64		0.00	12.15	1.22	
会所枿	2.000	0.00	0.00		0.00	0.0	0.00		0.00	
VP150	5.000	2.40	1.20	2.20	1.10		0.00	2.40	1.20	
VU100 (土間Coあり)	13.500	3.0	4.05		0.00	0.7	0.95	2.22	3.00	7.0+6.0+0.5
VU100 (土間Coなし)	13.600	3.4	4.62		0.00	1.2	1.63	2.07	2.82	5.4+8.2
重圧管	2.000	5.2	1.04	3.0	0.60		0.00	5.20	1.04	
合計			12.1		2.3		2.6		9.3	

数量計算書

測 点	距離 (m) or 箇所 (箇所)	舗装版切断		舗装版取壊し		がら処分		上層路盤		摘 要
						As		粒調砕石		
		10mor10 箇所当り (m)	延長 (m)	10mor10 箇所当り (m ²)	面積 (m ²)	10mor10 箇所当り (m ³)	体 積 (m ³)	10mor10 箇所当り (m ²)	面積 (m ²)	
PU側溝	6.800		0.00		0.00		0.00		0.00	
集水枡1	1.000		0.00		0.00		0.00		0.00	
集水枡2	1.000	33.00	3.30	13.50	1.35	0.68	0.07	8.10	0.81	
会所枡	2.000		0.00		0.00		0.00		0.00	
VP150	5.000	20.00	10.00	7.65	3.83	0.38	0.19		0.00	
VU100 (土間Coあり)	13.500		0.00		0.00		0.00		0.00	
VU100 (土間Coなし)	13.600		0.00		0.00		0.00		0.00	
重圧管	2.000	20.00	4.00	8.00	1.60	0.40	0.08	8.00	1.60	
舗装工			6.00		9.00		0.45			1式当り
合 計			23.3		15.8		0.8		2.4	

測 点	距 離 (m)	仮復旧								摘 要
		10mor10 箇所当り (m ²)	面積 (m ²)							
PU側溝	6.800		0.00							
集水枡1	1.000		0.00							
集水枡2	1.000	8.10	0.81							
会所枡	2.000		0.00							
VP150	5.000	7.65	3.83							
VU100 (土間Coあり)	13.500		0.00							
VU100 (土間Coなし)	13.600		0.00							
重圧管	2.000	8.00	1.60							
合 計			6.2		0.0		0.0		0.0	

2. 排水構造物工

1) PU側溝工 (B150-H150)

$$L = \quad = \quad 6.8 \text{ (m)}$$

2) 集水桝1 300

$$N = \quad = \quad 1 \text{ (箇所)}$$

3) 集水桝2 300

$$N = \quad = \quad 1 \text{ (箇所)}$$

4) 会所桝300

$$N = \quad = \quad 2 \text{ (箇所)}$$

5) 暗渠工 (VP ϕ 150)

$$L = \quad = \quad 5.0 \text{ (m)}$$

6) 暗渠工 (Vu ϕ 100)

$$L = \quad 13.5 \quad + \quad 13.6 \quad = \quad 27.1 \text{ (m)}$$

7) 桝設置工 (ϕ 150)

$$N = \quad 3 \quad + \quad 1 \quad = \quad 4.0 \text{ (箇所)}$$

8) 重圧管

$$L = \quad = \quad 2.0 \text{ (m)}$$

9) 土間コンクリート

$$A = \quad = \quad 11.1 \text{ (m}^2\text{)}$$

3. 舗装工

1) 路盤工 (碎石敷)

$$A = \quad = \quad 184.7 \text{ (m}^2\text{)}$$

$$V = \quad 184.7 \quad \times \quad 0.1 \quad = \quad 18.5 \text{ (m}^3\text{)}$$

2) 上層路盤工

$$A = \quad = \quad 2.4 \text{ (m}^2\text{)}$$

3) 仮復旧

$$A = \quad = \quad 6.2 \text{ (m}^2\text{)}$$

4) 不陸整正

A=

= 9.0 (m²)

5) 表層工

A=

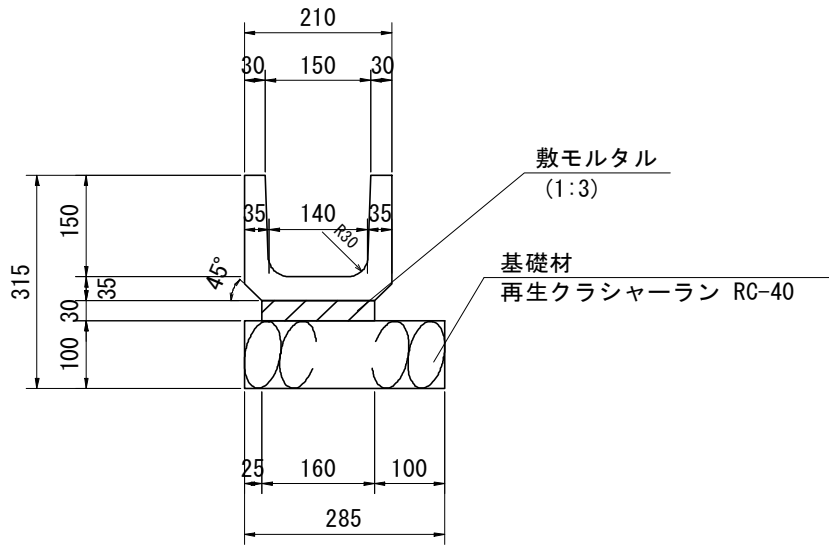
= 9.0 (m²)

材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称 : PU側溝工 150×150

10 m当り



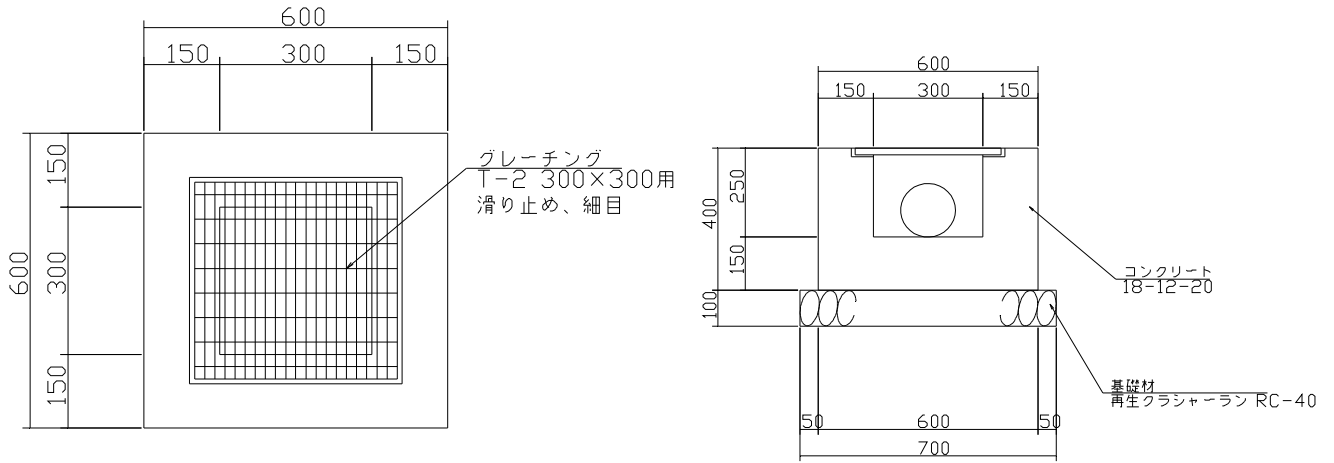
名 称	規格・形状	算 式	単 位	数 量
PU側溝	150×150	$N = 10.00 \div 0.605$	個	16.53
敷きモルタル	1:3	$V = 0.160 \times 0.030 \times 10.00$	m ³	0.05
基礎材	RC-40 t=100	$A = 0.285 \times 10.00$	m ²	2.85
		$V = 0.285 \times 0.100 \times 10.00$	m ³	0.29
土 工 床堀		$V =$	m ³	0.00
埋戻し	D	$V =$	m ³	0.00
残土		$V =$	m ³	0.00
基面整正	土砂	$A = 0.285 \times 10.00$	m ²	2.85

材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称：集水桝1

10 箇所当り



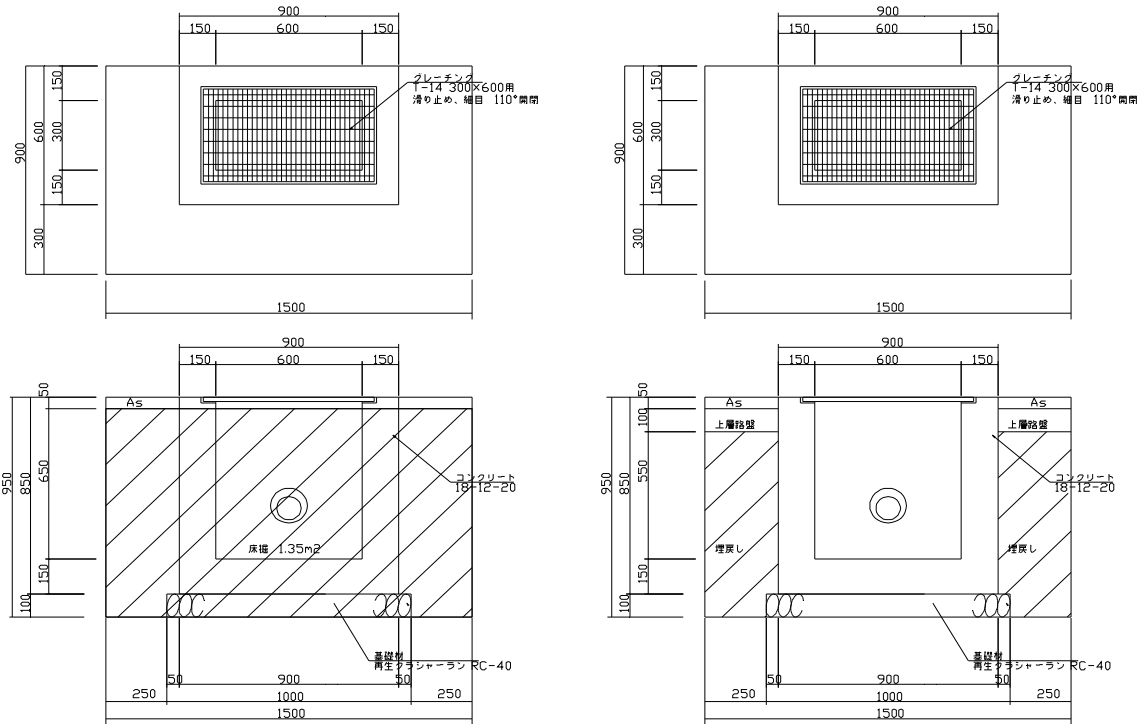
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量
コンクリート	18-12-20	$V = (0.600 \times 0.600 \times 0.400 - 0.300 \times 0.300 \times 0.250) \times 10.00$	m ³	1.22
型枠	小型構造物	$A = (0.600 \times 0.400 \times 4 + 0.300 \times 0.400 \times 4) \times 10.00$	m ²	14.40
基礎材	RC-40 t=100	$A = 0.700 \times 0.700 \times 10.00$	m ²	4.90
グレーチング	T-2 300×300用	N =	枚	10.00
土 工 床堀		V =	m ³	0.00
埋戻し	D	V =	m ³	0.00
残土		V =	m ³	0.00
基面整正	土砂	$A = 0.700 \times 0.700 \times 10.00$	m ²	4.90

材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称：集水桝2

10 箇所当り



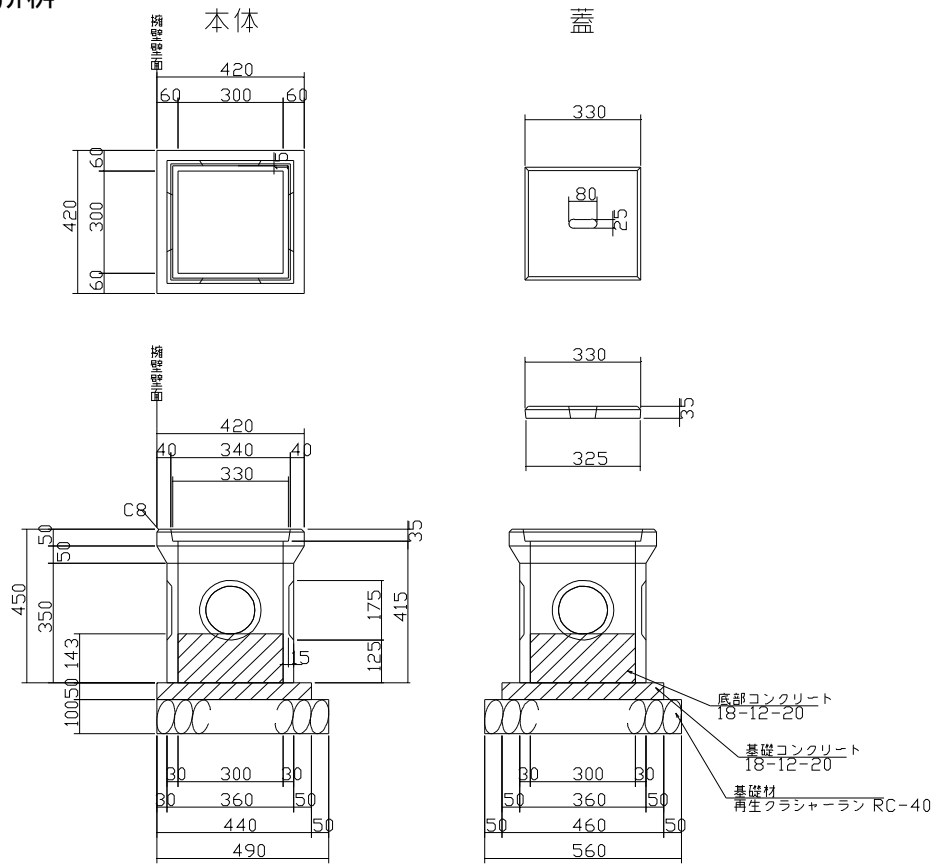
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量
コンクリート	18-12-20	$V =$ 小型構造物集より	m^3	3.33
型枠	小型構造物	$A =$ 小型構造物集より	m^2	40.80
基礎材	RC-40 t=100	$A = 0.900 \times 0.650$	m^2	0.59
グレーチング	T-14 300×600用	$N =$	枚	10.00
舗装切断	t=5cm	$L = (1.500 + 0.900 \times 2.00) \times 10.00$	m	33.00
舗装版取壊し	t=5cm	$A = 0.900 \times 1.500 \times 10.00$	m^2	13.50
がら処分		$V = 13.500 \times 0.050$	m^3	0.68
上層路盤	粒調碎石	$A = 13.500 - (0.600 \times 0.90) \times 10.00$	m^2	8.10
仮復旧	t=5cm	$A = 8.100$	m^2	8.10
土工 床堀		$V = 1.350 \times 0.900 \times 10.00$	m^3	12.15
埋戻し	D	$V = \{ (1.500 \times 0.900 - 1.000 \times 0.650) \times 0.100 + (1.500 \times 0.900 - 0.90 \times 0.600) \times 0.700 \} \times 10.000$	m^3	6.37
残土		$V =$	m^3	12.15
基面整正	土砂	$A = 1.000 \times 0.650 \times 10.00$	m^2	0.65

材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称： 会 所 枳

1 箇 所 当 り



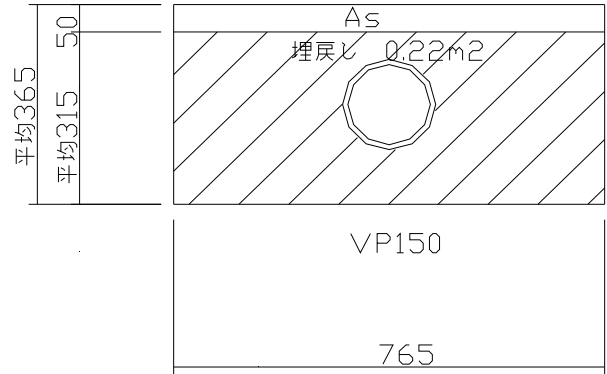
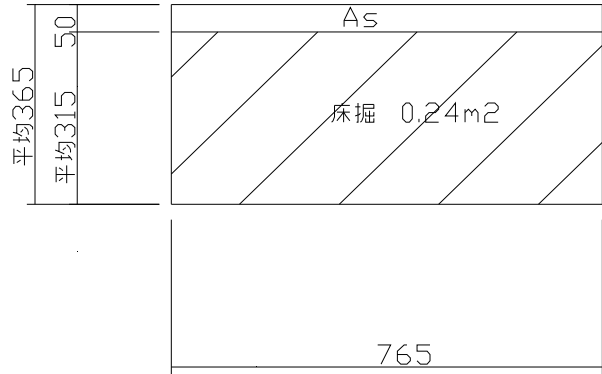
名 称	規格・形状	算 式	単 位	数 量
会 所 枳	300×300	$N = 1.000$	個	1.00
底部コンクリート	18-12-20	$V = 0.300 \times 0.300 \times 0.143$	m ³	0.013
基礎コンクリート	18-12-20	$V = 0.440 \times 0.460 \times 0.050$	m ³	0.01
基礎コン型枠		$A = (0.440 \times 2 + 0.460) \times 0.050$	m ²	0.07
基礎材	RC-40 t=100	$A = 0.490 \times 0.560$	m ²	0.27
蓋	300×300	$N =$	枚	1.00
土 工 床堀		$V =$	m ³	0.00
埋戻し	D	$V =$	m ³	0.00
残土		$V =$	m ³	0.00
基面整正	土砂	$A = 0.490 \times 0.560$	m ²	0.27

材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称 : VP150

10 m当り



名 称	規格・形状	算 式	単 位	数 量
VP150		L = 10.000	m	10.0
		N = 2.500	本	2.5
舗装切断	t=5cm	L = 10.000 × 2.000	m	20.00
舗装版取壊し	t=5cm	A = 0.765 × 10.000	m ²	7.65
がら処分		V = 7.650 × 0.050	m ³	0.38
仮復旧		A = 0.765 × 10.000	m ²	7.65
土 工 床掘		V = 0.240 × 10.000	m ³	2.40
埋戻し	D	V = 0.220 × 10.000	m ³	2.20
残土		V =	m ³	2.40
基面整正	土砂	A = 0.765 × 10.000	m ²	7.65

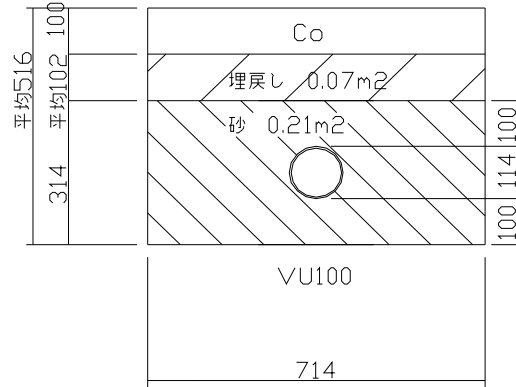
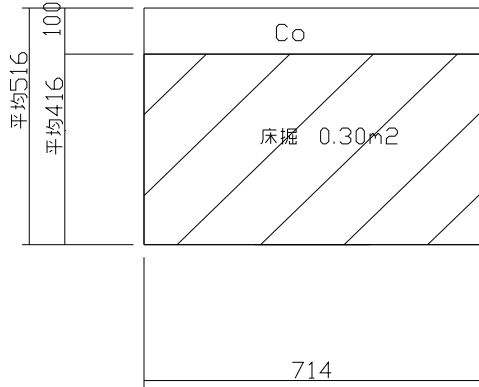
材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称 : VU100

10 m 当り

(土間Coあり)



名 称	規格・形状	算 式	単 位	数 量
VU100		L = 10.000	m	10.0
		N = 2.500	本	2.5
基礎	砂	V =	m ³	0.21
土間コンクリート	t=10cm	別途計上	m ³	0.00
取壊し 土間コンクリート	t=10cm	別途計上	m ³	0.00
土 工 床堀		V = 0.300 × 10.000	m ³	3.00
埋戻し	発生土	V = 0.070 × 10.000	m ³	0.70
残土		V = 3.00 - 0.70 / 0.9	m ³	2.22
基面整正	土砂	A = 0.714 × 10.000	m ²	7.14

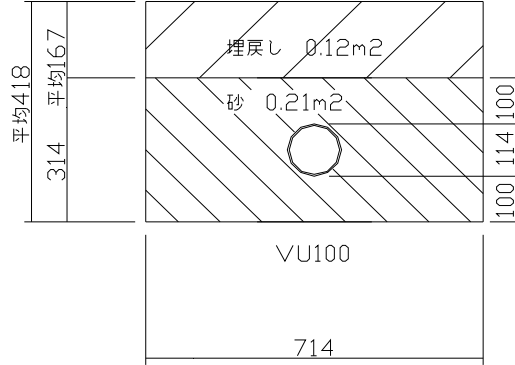
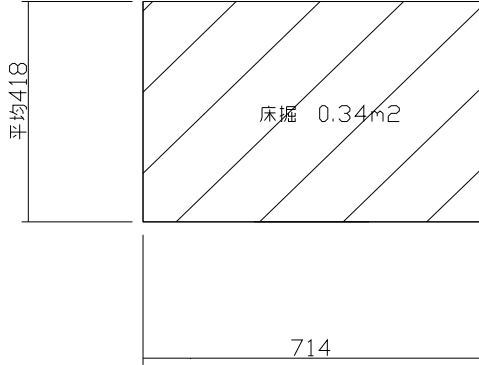
材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称 : VU100

10 m 当り

(土間Coなし)



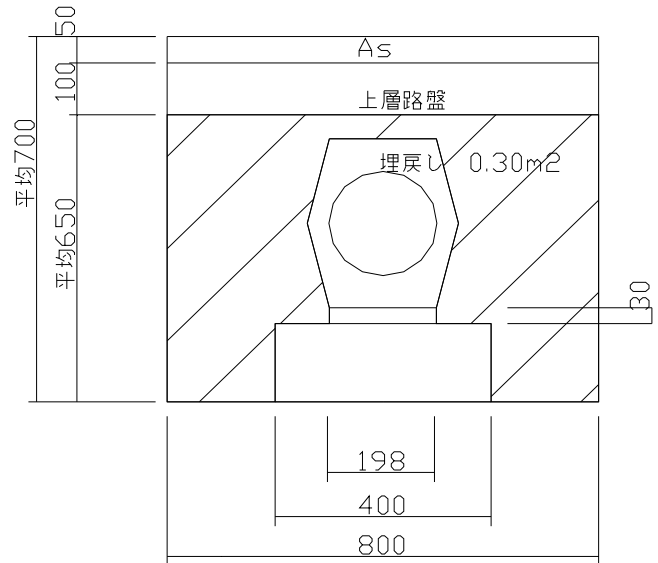
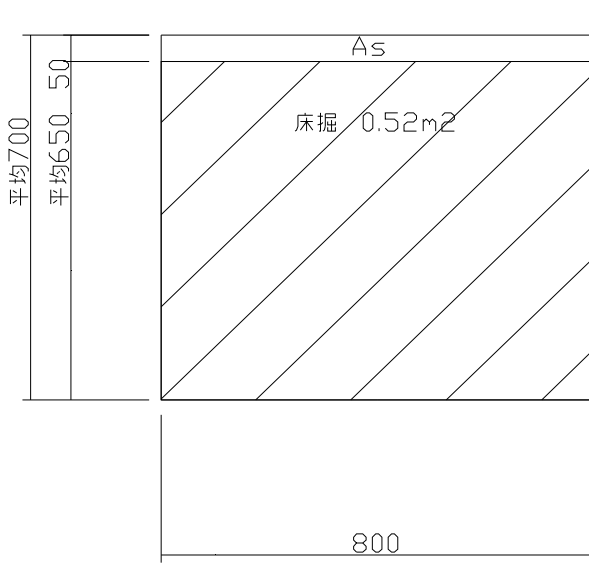
名 称	規格・形状	算 式	単 位	数 量
VU100		L = 10.000	m	10.0
		N = 2.500	本	2.5
基礎	砂	V =	m ³	0.21
土工 床掘		V = 0.340 × 10.000	m ³	3.40
埋戻し	発生土	V = 0.120 × 10.000	m ³	1.20
残土		V = 3.40 - 1.20 / 0.9	m ³	2.07
基面整正	土砂	A = 0.714 × 10.000	m ²	7.14

材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称 : 重圧管φ200

10 m 当り



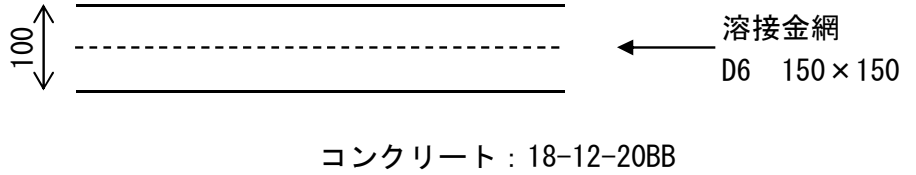
名 称	規格・形状	算 式	単 位	数 量
重圧管 (1種)		L = 10.000	m	10.0
		N = 5.000	本	5.0
基礎碎石	再生切込碎石	A = 0.400 × 10.000	m ²	4.00
モルタル	1 : 3	V = 0.198 × 0.03 × 10.000	m ³	0.06
舗装切断	t=5cm	L = 10.000 × 2.000	m	20.00
舗装版取壊し	t=5cm	A = 0.800 × 10.000	m ²	8.00
がら処分		V = 8.000 × 0.050	m ³	0.40
上層路盤	粒調碎石	A = 0.800 × 10.000	m ²	8.00
仮復旧	t=5cm	A = 0.800 × 10.000	m ²	8.00
土 工 床掘		V = 0.520 × 10.000	m ³	5.20
埋戻し	D	V = 0.300 × 10.000	m ³	3.00
残土		V =	m ³	5.20
基面整正	土砂	A = 0.400 × 10.000	m ²	4.00

材 料 計 算 書

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

名 称 : 土間コンクリート

100 m²当り

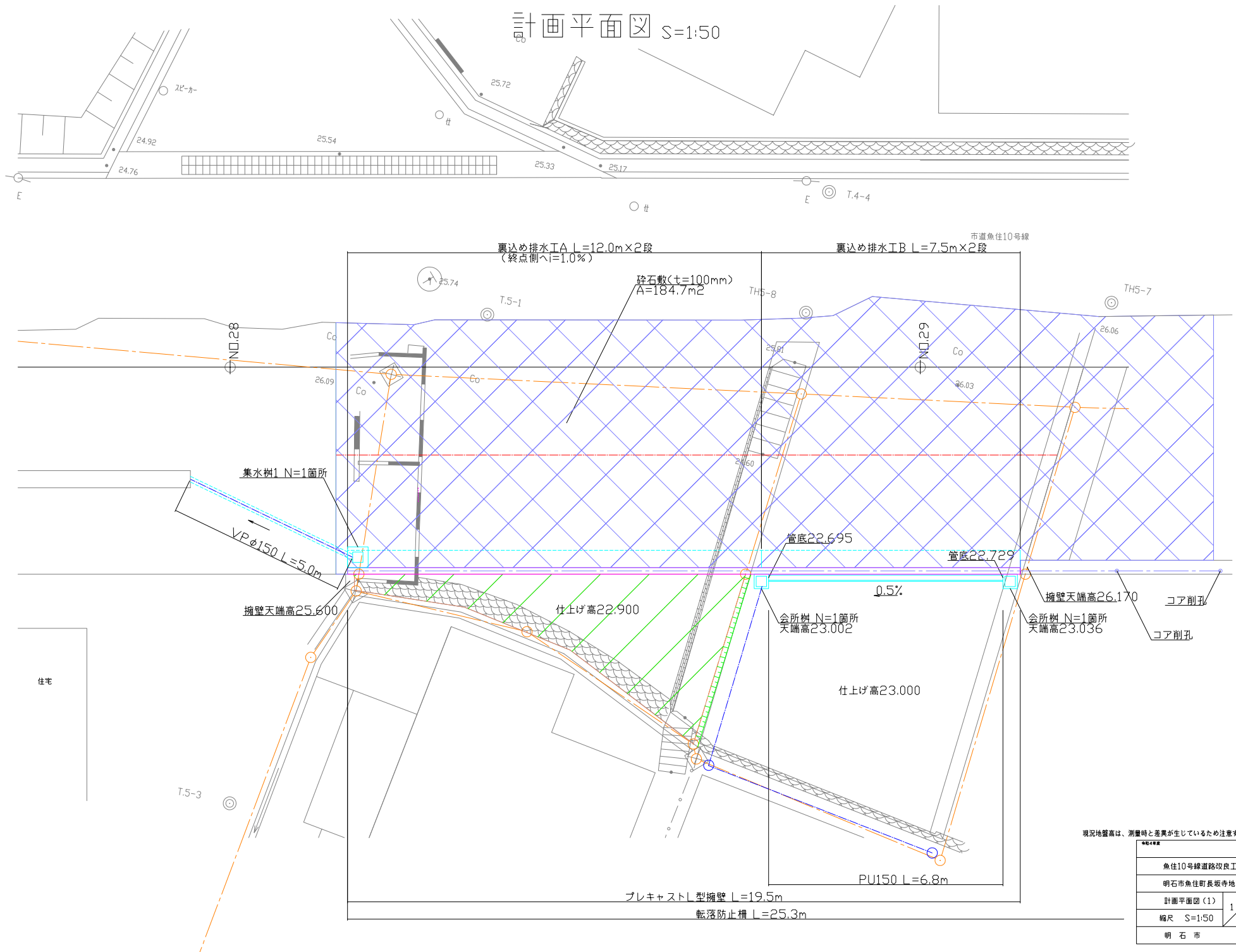


名 称	規格・形状	算 式	単 位	数 量
コンクリート	18-12-20BB	$V = 0.100 \times 100.00$	m ³	10.0
型枠	無筋	$A = 0.100 \times 10.000 \times 4.000$	m ²	4.0
溶接金網	D6 150 × 150	A =	m ²	100.00

位置図



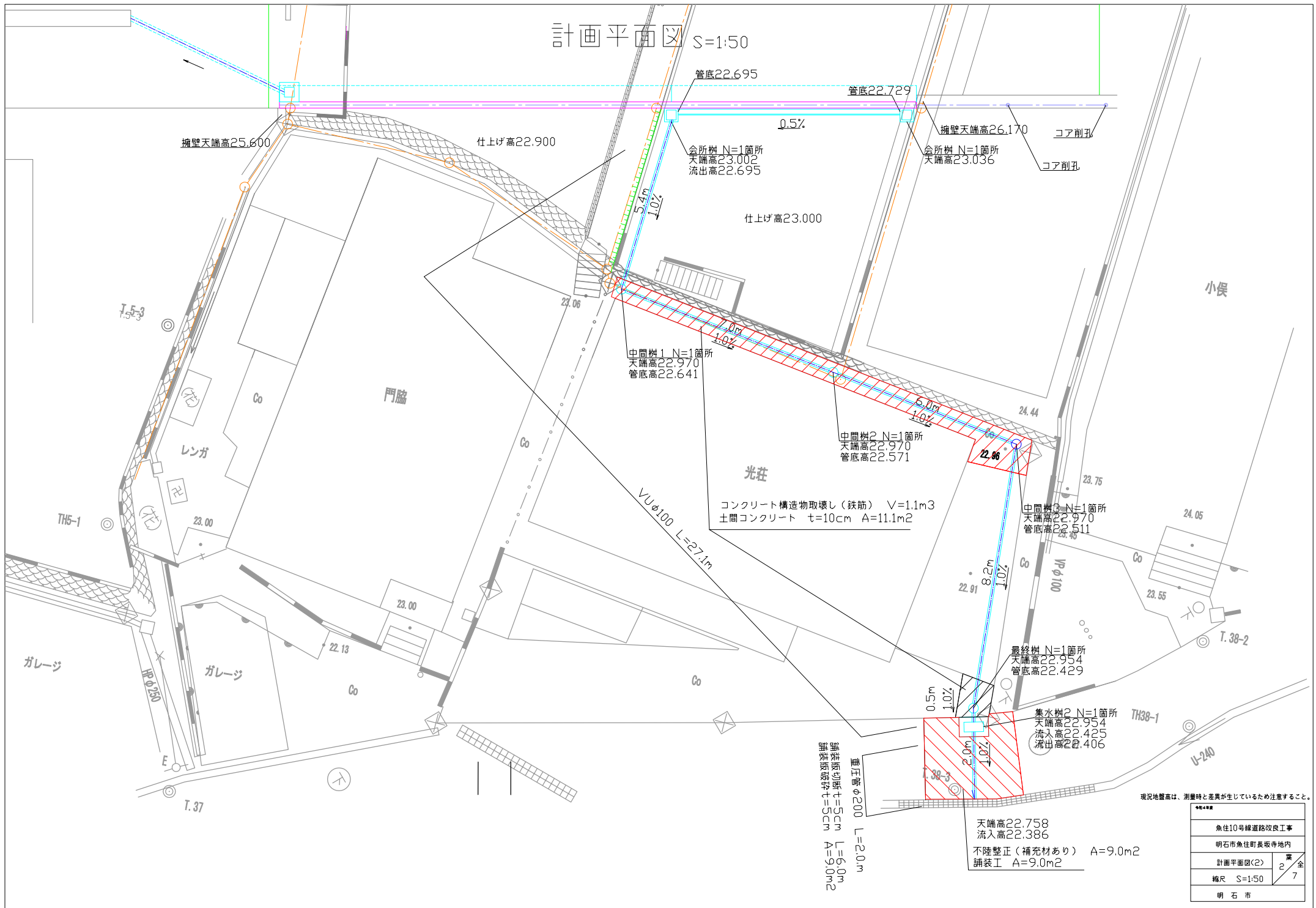
計画平面図 S=1:50



現況地盤高は、測量時と差異が生じているため注意すること。

魚住10号線道路改良工事	
明石市魚住町長坂寺地内	
計画平面図(1)	葉全
縮尺 S=1:50	1/7
明石市	

計画平面図 S=1:50

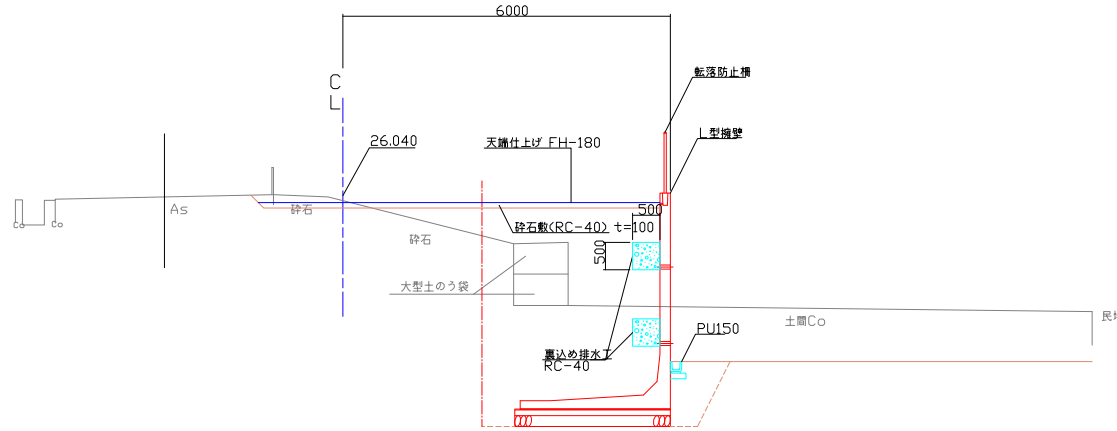


現況地盤高は、測量時と差異が生じているため注意すること。

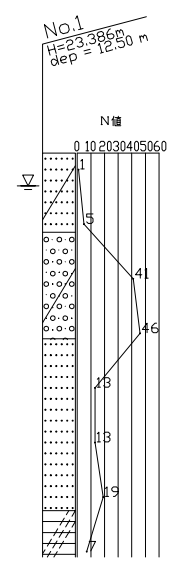
●●●●●	
魚住10号線道路改良工事	
明石市魚住町長坂寺地内	
計画平面図<2>	葉 2 / 全 7
縮尺 S=1:50	
明石市	

横断図 S=1:50

NO.29
GH=26.03
FH=26.040

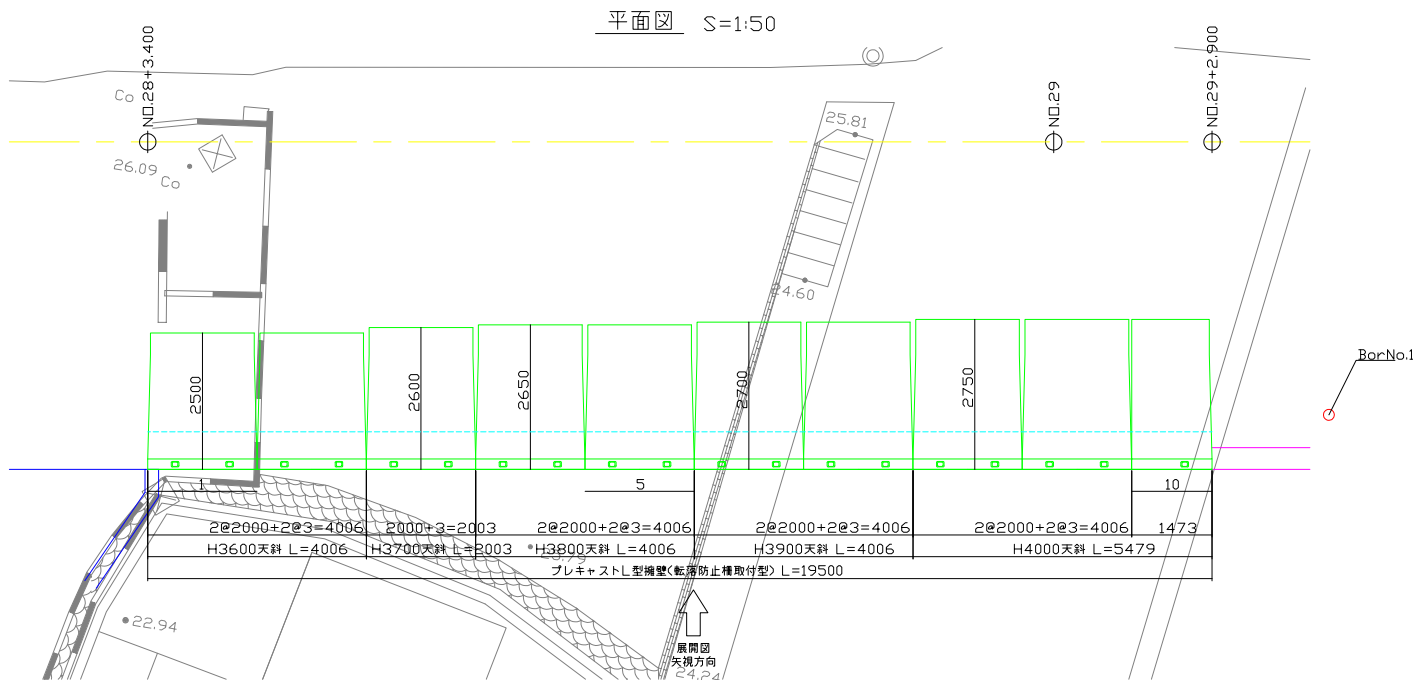


DL=20.00

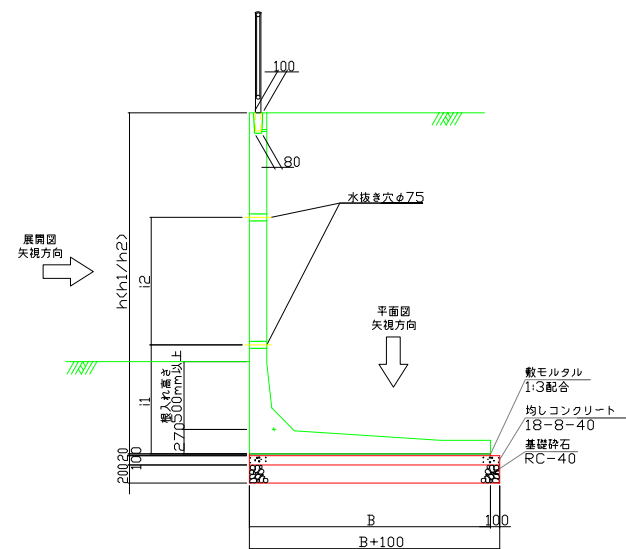


魚住10号線道路改良工事	
明石市魚住町長坂寺地内	
横断図	3/7 全
縮尺 S=1:50	
明石市	

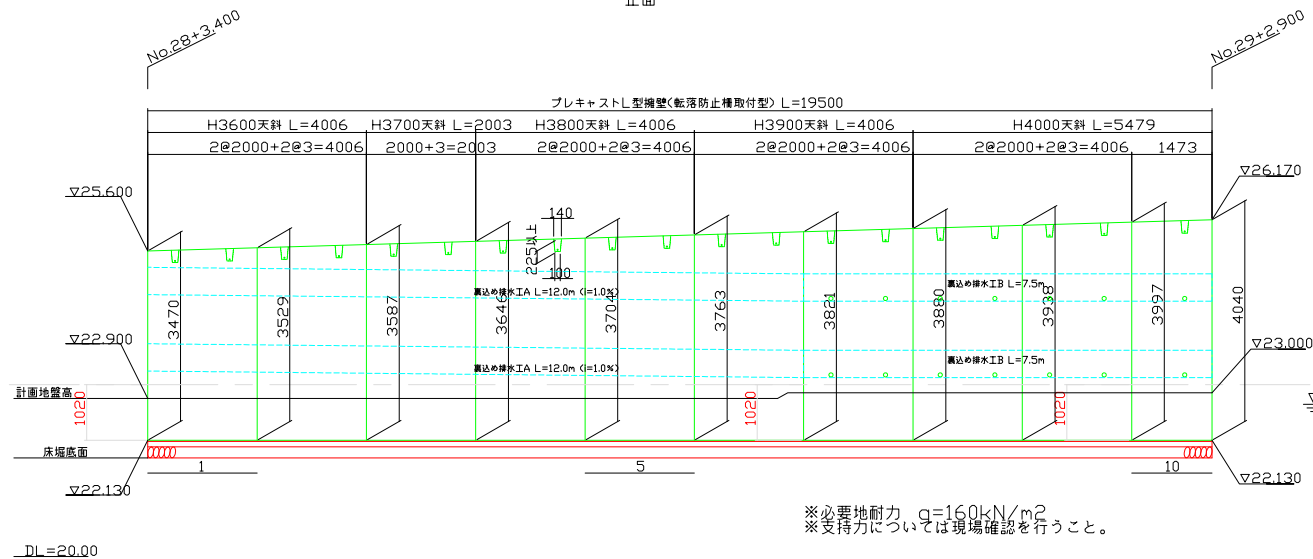
プレキャストL型擁壁割付図



標準断面図 S=1:30
(転落防止柵取付型)



展開図 S=1:50
正面



L型擁壁数量表(転落防止柵取付型)

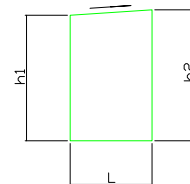
規格	壁高(mm)	製品長(mm)	水抜き穴(mm)	参考質量(kg)	番号	個数	摘要
H B	h(h1/h2)	L	i1 i2				
3600 2500	3470/3529	2000	- -	5640	1	1	H3600天端斜切、水抜き穴無し
	3529/3587	2000	- -	5690	2	1	H3600天端斜切、水抜き穴無し
3700 2600	3587/3646	2000	- -	5810	3	1	H3700天端斜切、水抜き穴無し
3800 2650	3646/3704	2000	- -	5900	4	1	H3800天端斜切、水抜き穴無し
	3704/3763	2000	- -	5950	5	1	H3800天端斜切、水抜き穴無し
3900 2700	3763/3821	2000	- -	6040	6	1	H3900天端斜切、水抜き穴無し
	3821/3880	2000	1200 1400	6090	7	1	H3900天端斜切
4000 2750	3880/3938	2000	1200 1400	6180	8	1	H4000天端斜切
	3938/3997	2000	1200 1400	6240	9	1	H4000天端斜切
	3997/4040	1473	1200 1400	4630	10	1	H4000天端斜切、短切
合計						10	

※"H"及び"B"の値は型枠使用規格を示す
※h(h1/h2)の寸法は擁壁正面から見た場合の値を示す

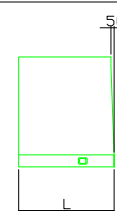
L型擁壁材料表(転落防止柵取付型)

工程	名称	規格	単位	数量
基礎工	敷モルタル	1:3 配合	m ³	1.0
	均しコンクリート	18-8-40	m ³	5.4
	型枠	均しコンクリート用	m ²	3.9
	基礎砕石	RC-40	m ²	53.7

天端正面図



短切平面図

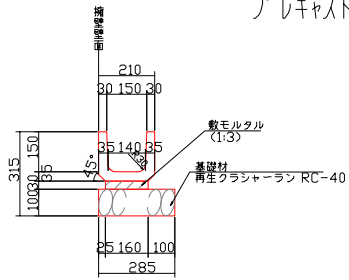


令和4年度	
魚住10号線道路改良工事	
明石市魚住町長坂寺地内	
プレキャストL型擁壁割付図	4 全
縮尺 S=1:50	7
明石市	

※必要地耐力 q=160kN/m²
※支持力については現場確認を行うこと。

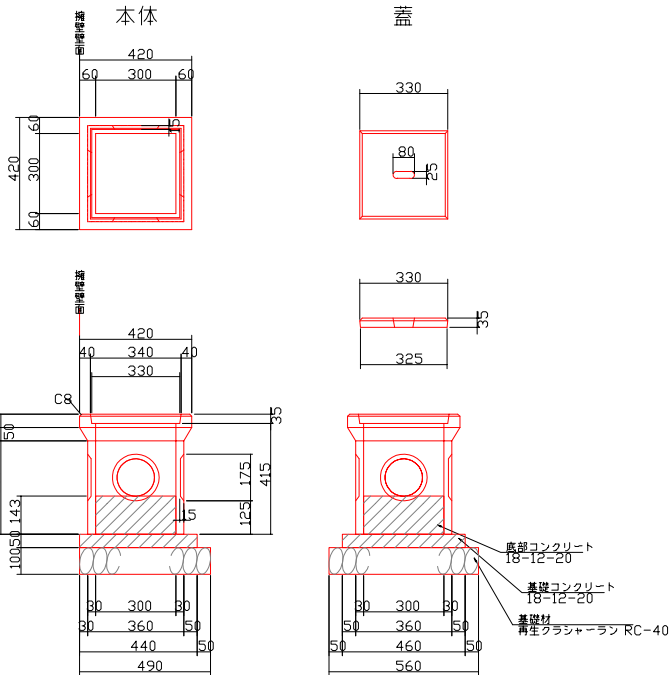
小構造物詳細図

ポリキャストU型-B150-H150 S=1:10



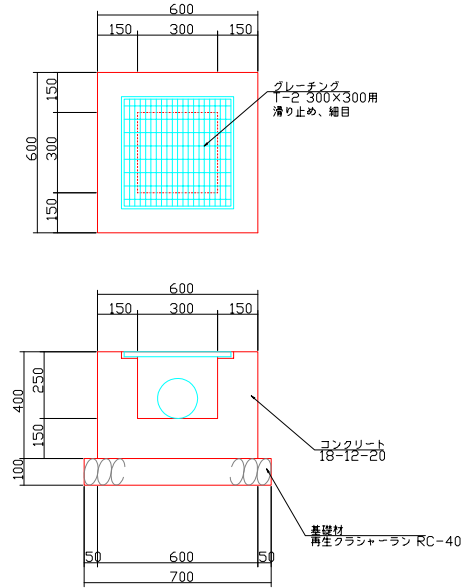
名称	規格	単位	数量
側溝	JIS A 5372 1種	個	16.5
敷モルタル	1:3	m ³	0.05
基礎材	再生クラッシュラン RC-40 t=10cm	m ²	2.9

会所桝300(参考図) S=1:10



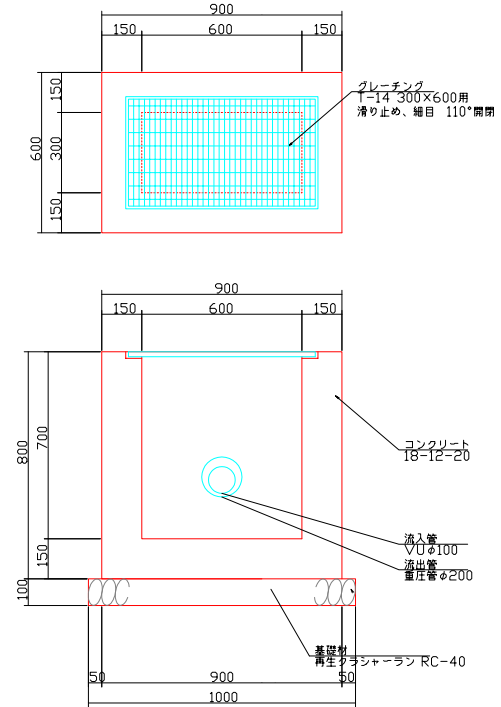
名称	規格	単位	数量
本体	300×300(重量47kg)	個	10
蓋	300×300(重量9kg)	枚	10
底部コンクリート	18-12-20	m ³	0.13
基礎コンクリート	18-12-20	m ³	0.10
基礎材	再生クラッシュラン RC-40 t=10cm	m ²	2.7

集水桝1 300 S=1:10



名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-12-20	m ³	1.2
グレーチング	T-2 300×300用	枚	10
基礎材	再生クラッシュラン RC-40 t=10cm	m ²	4.9

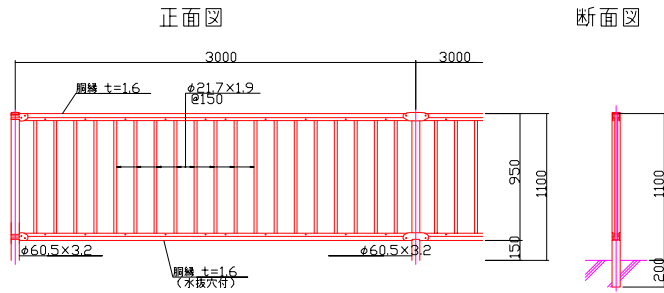
集水桝2 300×600 S=1:10



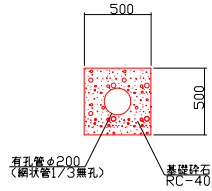
名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-12-20	m ³	3.3
グレーチング	T-14 300×600用	枚	10
基礎材	再生クラッシュラン RC-40 t=10cm	m ²	6.5

小構造物詳細図

転落防止柵(コンクリート建込用) S=1:20
(環境配慮型)



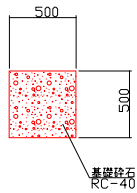
裏込め排水工A S=1:20



材料表 10.0m当たり

名称	規格	単位	数量
暗渠排水管	有孔管φ200(鋼鉄管1/3無孔)	本	2.5
基礎材	再生クラッシャーラン RC-40	m ²	2.2

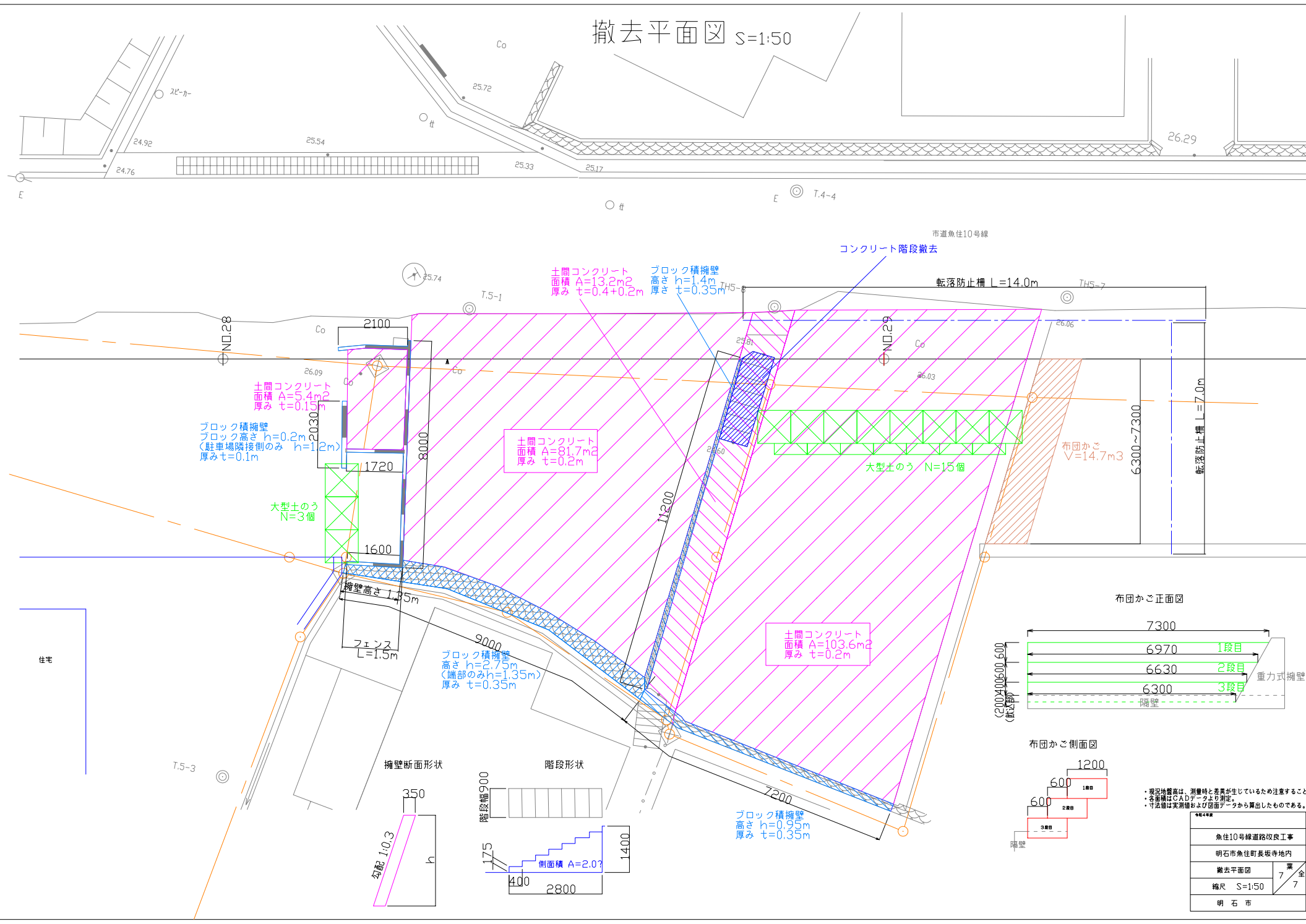
裏込め排水工B S=1:20



材料表 10.0m当たり

名称	規格	単位	数量
基礎材	再生クラッシャーラン RC-40	m ²	2.5

撤去平面図 S=1:50

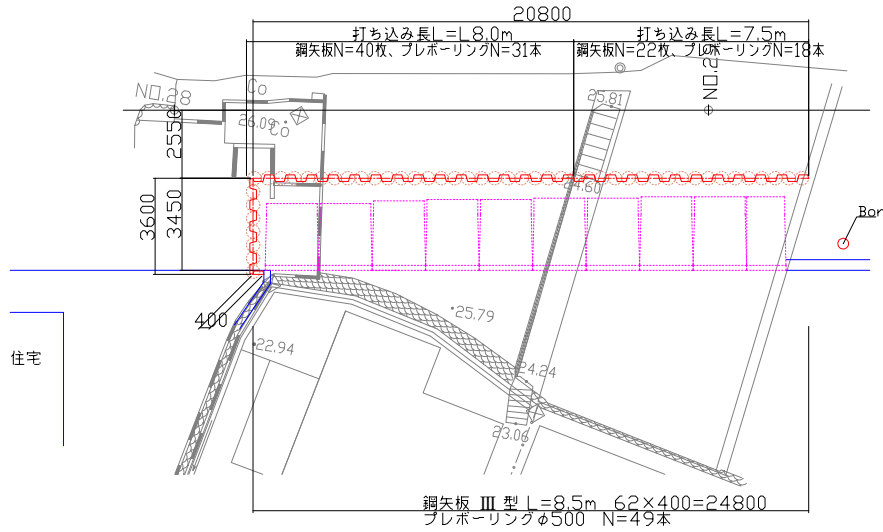


・現況地盤高は、測量時と差異が生じているため注意すること。
 ・各巻積はCADデータより測定。
 ・寸法値は実測値および図面データから算出したものである。

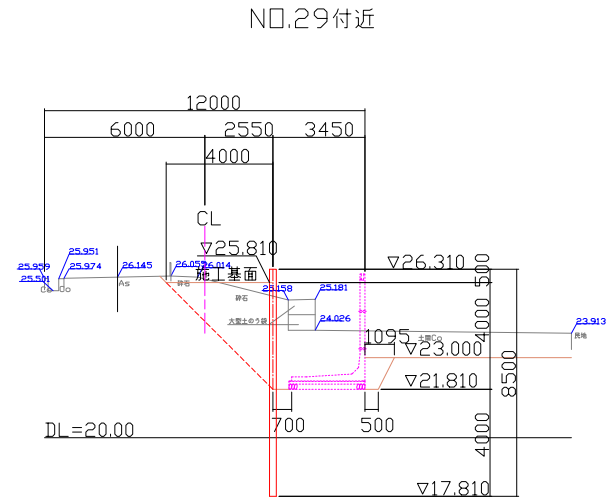
魚住10号線道路改良工事	
明石市魚住町長坂寺地内	
撤去平面図	7/7
縮尺 S=1:50	7/7
明石市	

土留工計画図（参考図）

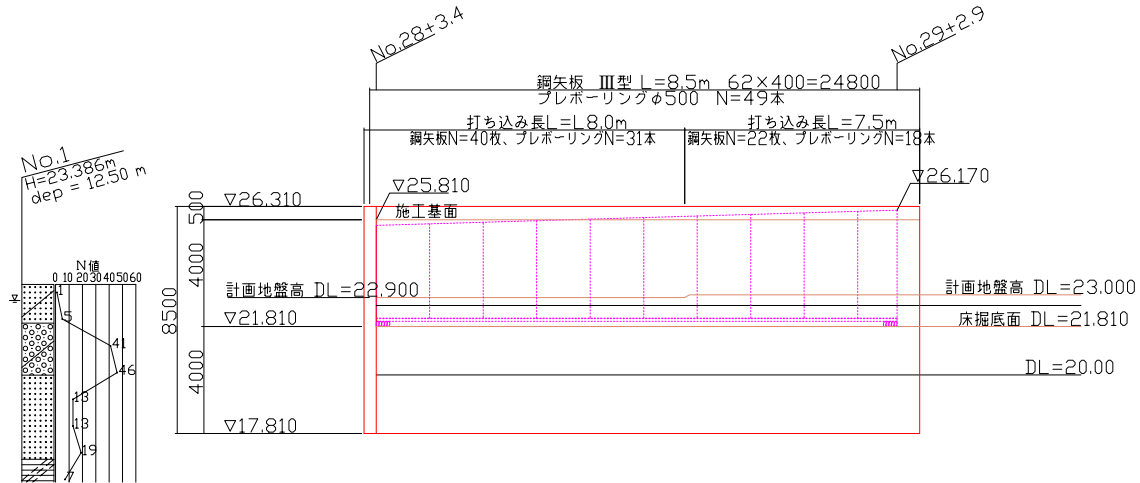
平面図 S=1:100



横断面図 S=1:100



正面図 S=1:100

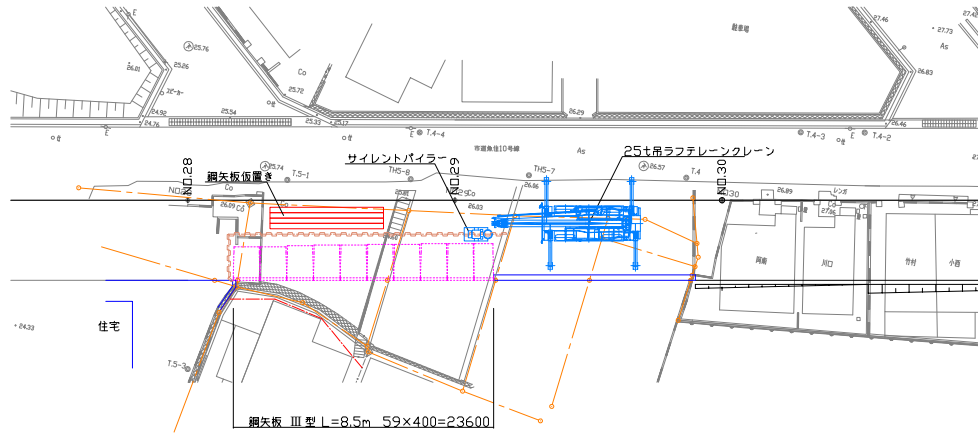


魚住10号線道路改良工事	
明石市魚住町長坂寺地内	
土留工計画図（参考図）	案
縮尺 S=1:100	全
明石市	

擁壁工施工計画図（参考図）

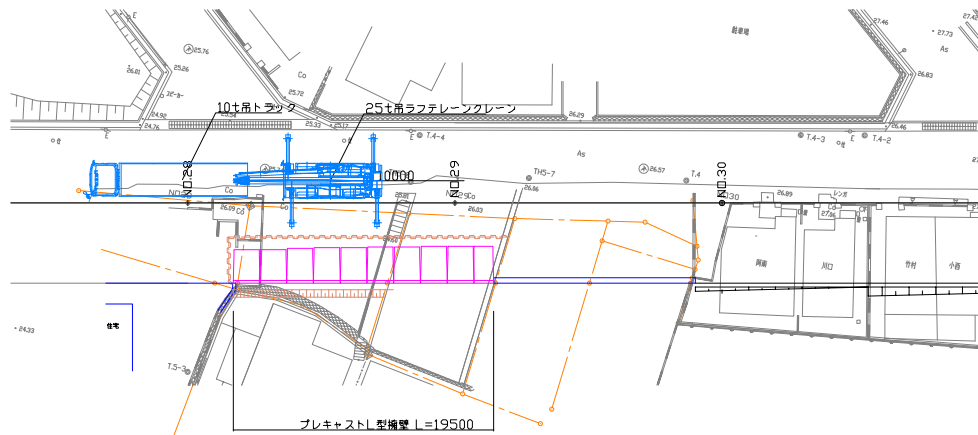
仮設工施工計画図

平面図 S=1:200



擁壁据付け工計画図

平面図 S=1:200



施工順序

- 既設構造物撤去

 既設構造物（コンクリート構造物、ブロック積み）の撤去を行う。
- ヤード整備

 施工機械設置、資材置き場等の施工ヤード整備を行う。
- 鋼矢板打設

 プレボーリング及びサイレントパイラーによる鋼矢板圧入を行う。
- 矢板背面の整備

 掘削、盛土
- 床掘

 擁壁設置のための、床掘を行う。
- 基面整正、基礎工

 擁壁基礎部の基面整正、基礎工の設置を行う。
- プレキャスト擁壁据付け

 25t吊ラフテレンクレーンにより、プレキャスト擁壁の据え付けを行う。たきガスの通過時刻には、クレーンを遠退させ、規制を解除すること。
- 埋戻し

 床掘、擁壁背面の埋戻しを行う。
- 鋼矢板引き抜き

 サイレントパイラーによる鋼矢板引き抜きを行う。引き抜き後、砂（水締め）により崩れめを行う。

施工順序については発注者が想定しているものである。
受注者は現地立会後、施工計画を立案し、協議の上実施すること。

魚住10号線道路改良工事	
明石市魚住町長坂寺地内	
擁壁工施工計画図（参考図）	案
縮尺 S=1:100	全
明石市	

令和4 年度 魚住10号線道路改良工事

見積参考図書
(当初設計)

工事番号

路線名等 魚住10号線

工事箇所 明石市魚住町長坂寺 地内

工 種 道路改良

総括情報表

単価適用年月日	0-04.08.01(0)		
工種区分 (公共) 施工地域区分	今 回 04 道路改良 36 市街地(DID補正)(1)-3		前 回

工事費内訳書

頁0-0002/0149

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
道路改良							
道路土工							
掘削工							
掘削							
路体盛土工		1		式			工種 第0001号明細表
路体(築堤)盛土							
作業土工		1		式			工種 第0002号明細表
床掘り							
		1		式			工種 第0003号明細表

工事費内訳書

頁0-0003/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し						
	1		式			工種 第0004号明細表
基面整正						
	1		式			工種 第0005号明細表
残土処理工						
土砂等運搬						
	1		式			工種 第0006号明細表
残土等処分						
	1		式			工種 第0007号明細表
擁壁工						
プレキャスト擁壁工						
プレキャスト擁壁						
	1		式			工種 第0008号明細表
排水構造物工						

工事費内訳書

頁0-0004/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管渠工						
暗渠排水管						
	1		式			工種 第0009号明細表
構造物撤去工						
防護柵撤去工						
防護柵(横断・転落防止柵)撤去						
	1		式			工種 第0010号明細表
構造物取壊し工						
コンクリート構造物取壊し						
	1		式			工種 第0011号明細表
かご撤去工						
ふとんかご撤去						
	1		式			工種 第0012号明細表

工事費内訳書

頁0-0005/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう撤去工						
大型土のう						
運搬処理工	1		式			工種 第0013号明細表
殻運搬						
殻処分	1		式			工種 第0014号明細表
仮設工	1		式			工種 第0015号明細表
土留・仮締切工						
鋼矢板						
交通管理工	1		式			工種 第0016号明細表

工事費内訳書

頁0-0006/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0017号明細表
舗装						
防護柵工						
防止柵工						
転落(横断)防止柵						
	1		式			工種 第0018号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
運搬費						
			式			
仮設材運搬費						
			式			工種 第0019号明細表

工事費内訳書

頁0-0007/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
技術管理費						
地質調査費			式			
	1		式			工種 第0020号明細表
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
工事価格						
消費税相当額			式			

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工事費(1)						
道路改良						
道路土工						
作業土工						
床掘り						
埋戻し	1		式			工種 第0021号明細表
残土処理工	1		式			工種 第0022号明細表
土砂等運搬						
残土等処分	1		式			工種 第0023号明細表
	1		式			工種 第0024号明細表

工事費内訳書

頁0-0010/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水構造物工						
側溝工						
プレキャストU型側溝						
管渠工	1		式			工種 第0025号明細表
暗渠排水管						
鉄筋コンクリート台付管	1		式			工種 第0026号明細表
集水枿・マンホール工	1		式			工種 第0027号明細表
現場打ち集水枿						
集水枿・マンホール基礎	1		式			工種 第0028号明細表
			式			工種 第0029号明細表

工事費内訳書

頁0-0011/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土間コンクリート						
土間コンクリート						
構造物撤去工	1		式			工種 第0030号明細表
構造物取壊し工						
コンクリート構造物取壊し	1		式			工種 第0031号明細表
舗装版切断	1		式			工種 第0032号明細表
舗装版破碎	1		式			工種 第0033号明細表
石積撤去	1		式			工種 第0034号明細表
運搬処理工						

工事費内訳書

頁0-0012/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬						
	1		式			工種 第0035号明細表
殻処分						
	1		式			工種 第0036号明細表
仮設工						
土留・仮締切工						
鋼矢板						
	1		式			工種 第0037号明細表
舗装						
道路土工						
路床盛土工						
路床盛土						
	1		式			工種 第0038号明細表

工事費内訳書

頁0-0013/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装工						
舗装準備工						
不陸修正						
アスファルト舗装工	1		式			工種 第0039号明細表
上層路盤(車道・路肩部)						
表層(車道・路肩部)	1		式			工種 第0040号明細表
仮復旧工						
仮復旧	1		式			工種 第0041号明細表
仮設工						
	1		式			工種 第0042号明細表

工事費内訳書

頁0-0014/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0043号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			

床掘り

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0018/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 土砂 標準 土留->自立式	280	m3			施工 第0-0004号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
プレキャスト擁壁設置 擁壁高->2.0mを超え3.5m以下(各種) 基礎碎石->有り 均しコン->有り	2	m			施工 第0-0013号内訳表
プレキャスト擁壁設置 擁壁高->3.5mを超え5.0m以下(各種) 基礎碎石->有り 均しコン->有り	17	m			施工 第0-0014号内訳表
転落防止柵付きL型擁壁 H3470/3529×2500×2000	1	個			
転落防止柵付きL型擁壁 H3529/3587×2500×2000	1	個			
転落防止柵付きL型擁壁 H3587/3646×2600×2000	1	個			
転落防止柵付きL型擁壁 H3646/3704×2650×2000	1	個			
転落防止柵付きL型擁壁 H3704/3763×2650×2000	1	個			
転落防止柵付きL型擁壁 H3763/3821×2700×2000	1	個			
転落防止柵付きL型擁壁 H3821/3880×2700×2000	1	個			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
転落防止柵付きL型擁壁 H3880/3938×2750×2000	1	個			
転落防止柵付きL型擁壁 H3938/3997×2750×2000	1	個			
転落防止柵付きL型擁壁 H3997/4040×2750×1473	1	個			
合 計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし	47	m3			施工 第0-0025号内訳表
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし	10	m3			施工 第0-0026号内訳表
土砂等運搬 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	18	m3			施工 第0-0010号内訳表
土砂等運搬 土質->硬岩	14	m3			施工 第0-0027号内訳表
合計	1	式			

殻処分

工種明細表

工種 第0015号明細表

頁0-0031/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
処分費 コンクリート殻(鉄筋)	1	式			施工 第0-0028号内訳表
処分費 コンクリート殻(無筋)	1	式			施工 第0-0029号内訳表
処分費 土砂	1	式			施工 第0-0030号内訳表
処分費 石	1	式			施工 第0-0031号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(往復分)〕	31.6	t			施工 第0-0043号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	31.6	t			施工 第0-0044号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	31.6	t			施工 第0-0044号内訳表
合 計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
殼運搬 舗装版破碎	0.8	m3			施工 第0-0076号内訳表
土砂等運搬 土質->軟岩	1	m3			施工 第0-0077号内訳表
土砂等運搬 土質->軟岩	6	m3			施工 第0-0078号内訳表
合 計	1	式			

処分費

工種明細表

工種 第0036号明細表

頁0-0052/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
処分費 アスファルト殻	1	式			施工 第0-0079号内訳表
処分費 コンクリート殻(鉄筋)	1	式			施工 第0-0080号内訳表
処分費 石	1	式			施工 第0-0081号内訳表
合 計	1	式			

掘削

[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2] 標準以外

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0060/0149

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ積0.13m3(平積0.10m3) [クローラ型・排出ガス型(第2次基準値)]			小型バックホウ(クローラ型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハートル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=5	上記以外(小規模)					
F	施工数量	=8	標準以外					

路体(築堤)盛土
[規格1] 2.5m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0062/0149
m3 当り

1

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		振動ローラ(舗装用) 質量0.8~1.1t [ハトガト式]			振動ローラ			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	施工幅員	=1	2.5m未満					

床掘り
[規格1] 土砂 標準

[規格2] 土留->自立式

積算単価算出表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0063/0149
m3 当り

1

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含				バックホウ(排出ガス対策型含)			
K									
R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R2		普通作業員				普通作業員			
R									
Z1		軽油 1.2号 ハトール給油				軽油			
Z									
						計			
積算単価 =									
A	土質	=1		土砂					
B	施工方法	=1		標準					
C	土留方式の種類	=2		自立式					
D	障害の有無	=1		無し					

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m以上4m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0065/0149
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			バックホウ(クローラ型)			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量0.8~1.1t [ハンドガイト式]			振動ローラ			
K3	タンバ及びランマ 質量60~80kg			タンバ(ランマ)			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A 施工方法	=3		最大埋戻幅1m以上4m未満				

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0007号内訳表

1
頁0-0066/0149
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]			バックホウ(クローラ型)			
K2	タンバ°及びランマ 質量60~80kg			タンバ°(ランマ)			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レキユラー スタンド°			レキユラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工方法	=4	最大埋戻幅1m未満				

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0068/0149

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 4t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=2	小規模					
B	積込機種・規格	=5	バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=16	7.0km以下					

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0069/0149

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土砂等発生現場	=1	標準				
B	積込機種・規格	=1	バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)				
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
D	DID区間の有無	=2	有り				
E	運搬距離	=14	6.0km以下				

プレキャスト擁壁設置

[規格1] 擁壁高->2.0mを超え3.5m以下(各種)

[規格2] 基礎砕石->有り 均しコン->有り

積算単価算出表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0072/0149

1 m 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ラフテレンクレーン 25t吊 [油圧伸縮シブ型] 排出ガス対策型含			ラフテレンクレーン(排出ガス対策型含) ホータ付き			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	コンクリート擁壁(中地震対応型) 宅認(q=10kN/m ²) 2500型(L=2.0m)			ダミー			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	プレキャスト擁壁高さ =7	2.0mを超え3.5m以下(各種)					
B	基礎砕石の有無 =1	有り					
C	均しコンクリートの有無 =1	有り					
D	プレキャスト擁壁(各種)(円/個)の単価コード =0	プレキャスト擁壁(各種)(円/個)の単価コード					

プレキャスト擁壁設置

[規格1] 擁壁高->3.5mを超え5.0m以下(各種)

[規格2] 基礎碎石->有り 均しコン->有り

積算単価算出表

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0073/0149

1 m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		ラフテレンクレーン 25t吊 [油圧伸縮シブ型] 排出ガス対策型含			ラフテレンクレーン(排出ガス対策型含) ホータ付き			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		コンクリート擁壁(中地震対応型) ハイタッチウォール宅認(q=10kN/m2) 4250型(L=2.0m)			ダミー			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	プレキャスト擁壁高さ	=8	3.5mを超え5.0m以下(各種)					
B	基礎碎石の有無	=1	有り					
C	均しコンクリートの有無	=1	有り					
D	プレキャスト擁壁(各種)(円/個)の単価コード	=0	プレキャスト擁壁(各種)(円/個)の単価コード					

暗渠排水管
[規格1] 据付

[規格2] 直管 (200~400mm)

積算単価算出表

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0076/0149
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							1	
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管			ダミー			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	据付					
B	管種別	=1	直管					
C	呼び径	=2	200~400mm					
E	暗渠排水管 (円/m) の単価コード	=1	暗渠排水管 (円/m) の単価コード					

ふとんかご
[規格1] 作業区分→撤去(階段式)

[規格2] 高さ60cm 幅120cm

積算単価算出表

施工 第0-0022号内訳表

頁0-0081/0149
m 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			バックホ(クローラ型)			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	作業区分	=2	撤去				
B	ふとんかご種別	=2	階段式				
C	ふとんかご規格	=20	高さ60cm 幅120cm				

殻運搬

[規格1] コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0083/0149

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=2	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=15	5.7km以下					

殻運搬

[規格 1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0026号内訳表

頁0-0084/0149

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	殻発生作業 =1		コンクリート(無筋)構造物とりこわし				
B	積込工法区分 =1		機械				
C	DID区間の有無 =2		有り				
D	運搬距離 =20		8.0km以下				

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=1	標準					
B	積込機種・規格	=1	バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)					
C	土質	=3	硬岩					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=39	19.5km以下					

施工単価表

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0090/0149

油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板圧入

[規格1] 鋼矢板 III型

[規格2]

[摘要]

10

枚 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
とび工		人			
油圧式杭圧入引抜機運転		日			
ラフテレーンクレーン運転		日			
諸雑費		%			
合 計	10	枚			
単 位 当 り	1	枚			
A 鋼矢板の種類		=2	鋼矢板 III型		
B 鋼矢板の圧入長(m)		=7.5	鋼矢板の圧入長(m)		
C 最大N値		=1	25以下		

施工単価表

施工 第0-0035号内訳表

頁0-0091/0149

油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板圧入

[規格1] 鋼矢板 III型

[規格2]

[摘要]

10

枚 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
とび工		人			
油圧式杭圧入引抜機運転		日			
ラフテレンクレーン運転		日			
諸雑費		%			
合 計	10	枚			
単 位 当 り	1	枚			
A 鋼矢板の種類		=2	鋼矢板 III型		
B 鋼矢板の圧入長(m)		=8	鋼矢板の圧入長(m)		
C 最大N値		=1	25以下		

施工単価表

施工 第0-0036号内訳表

頁0-0092/0149

油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板引抜

[規格1] 鋼矢板 III型

[規格2]

[摘要]

10

枚 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
とび工		人			
油圧式杭圧入引抜機運転		日			
ラフテレンクレーン運転		日			
諸雑費		%			
合 計	10	枚			
単 位 当 り	1	枚			
A 鋼矢板の種類		=2	鋼矢板 III型		
B 鋼矢板の引抜長(m)		=8	鋼矢板の引抜長(m)		

積算単価算出表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)
 [規格1] 削孔径->100mm以上110mm未満

[規格2] 削孔深さ->200mm以上400mm以下

[摘要]

施工 第0-0042号内訳表

頁0-0098/0149
 1 孔 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	コンクリート穿孔機 φ25cm [電動式コアホーリングマシン]			コンクリート穿孔機			
K2	発動発電機 3kVA [ガソリンエンジン駆動]			発動発電機			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	ダイヤモンドビット φ110mm			ダイヤモンドビット			
Z2	ガソリン レキユラー スタンド			レキユラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	削孔径	=5	100mm以上110mm未満				
B	削孔深さ	=3	200mm以上400mm以下				

床掘り
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0101/0149
m3 当り

1

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クローラ型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1		土砂				
B	施工方法	=5		上記以外(小規模)				

埋戻し
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0047号内訳表

1
頁0-0103/0149
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クロー型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クロー型)			
K2	クハ及びランマ 質量60~80kg			クハ及びランマ			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工方法	=5	上記以外(小規模)				
B	土質	=1	土砂				

施工単価表

施工 第0-0051号内訳表

頁0-0107/0149

硬質塩化ビニル管布設工

[規格1] VP φ150

[規格2]

[摘要]

10

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
暗渠排水管 据付 直管(50~150mm)	10	m			施工 第0-0052号内訳表
一般用硬質塩化ビニル管(VP管) 径150mm×厚8.9mm×長4000mm		本			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			

暗渠排水管
[規格1] 据付

[規格2] 直管 (50~150mm)

積算単価算出表

施工 第0-0052号内訳表

頁0-0108/0149
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K							1	
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管			ダミー			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	据付					
B	管種別	=1	直管					
C	呼び径	=1	50~150mm					
E	暗渠排水管(円/m)の単価コード	=1	暗渠排水管(円/m)の単価コード					

鉄筋コンクリート台付管
[規格1] 据付 管径200mm

[規格2] 重圧管 1種

積算単価算出表

施工 第0-0056号内訳表

頁0-0112/0149
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) [標準型・クレーン付排ガス(第1次)]			バックホウ(クローラ型)			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		鉄筋コンクリート台付管(ハコイコン台付管) 管径300mm×長さ2000mm			重圧管(1種管) 径200×2000mm			
Z2		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	据付					
B	管径	=1	200mm					
C	管種別	=2	重圧管 1種					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K							1	
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入			高炉セメント(B種)			
Z2		砂 細目(洗い)			砂 洗砂			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	セメント種別	=3	高炉					
B	砂種類	=1	洗砂					
C	混合比	=3	1:3					

施工単価表

施工 第0-0058号内訳表

頁0-0114/0149

集水桝1

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数	単位	[摘要] 単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物	1.2	m3			10 箇所 施工 第0-0059号内訳表
型枠 一般型枠 小型構造物	14.4	m2			10 箇所 施工 第0-0060号内訳表
基礎碎石 碎石厚->7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュ RC-30, RC-40	4.9	m2			10 箇所 施工 第0-0061号内訳表
蓋版 機械・労務	10	枚			10 箇所 施工 第0-0062号内訳表
鋼製グレーチング 300×300用 T-2 滑り止め、落込式細目（鎖付）	10	枚			
合 計	10	箇所			
単 位 当 り	1	箇所			

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=2	小型構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=10	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0060号内訳表

1
頁0-0116/0149
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

基礎砕石

[規格 1] 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下

[規格 2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0061号内訳表

頁0-0117/0149

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含)			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=2	7.5cmを超え12.5cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40					

施工単価表

施工 第0-0063号内訳表

頁0-0119/0149

集水樹2

[規格1]	[規格2]	[摘要]				10 箇所 当り
名称・規格	数	量	単位	単価	金額	備考
現場打ち集水樹・街渠樹(本体) 18-12-20BB[水セメント比 60%以下] 1箇所当りCo使用量->0.32m3を超え0.34m3以	10		箇所			施工 第0-0064号内訳表
蓋版 機械・労務	10		枚			施工 第0-0062号内訳表
鋼製グレーチング 300×600用 T-14 滑り止め、110° 開閉式細目	10		枚			
合 計	10		箇所			
単 位 当 り	1		箇所			

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
 [規格1] 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]

積算単価算出表

施工 第0-0064号内訳表

頁0-0120/0149

[規格2] 1箇所当りCo使用量->0.32m3を超え0.34m3以下 [摘要]

1

箇所 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	コンクリート規格	=2	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
B	1箇所当りコンクリート使用量	=7	0.32m3を超え0.34m3以下				
C	コンクリート打設工法	=2	人力打設				
D	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

プレキャスト集水桝
 [規格1] 据付 W=50kg以上80kg以下

[規格2] 基礎碎石->有り

積算単価算出表

施工 第0-0066号内訳表

頁0-0122/0149

[摘要]

1

基 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)1.7t吊 [クローラ型クレーン付] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	据付					
B	製品質量(kg/基)	=1	50kg以上80kg以下					
C	基礎碎石の有無	=1	有り					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 均しコンクリート

積算単価算出表

施工 第0-0067号内訳表

1
頁0-0123/0149
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=4	均しコンクリート					

施工単価表

施工 第0-0068号内訳表

頁0-0124/0149

ます設置工

[規格1]ます径 150mm, 設置なし

[規格2]

[摘要]

1

箇所
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ます設置工(塩化ビニル製) ます径150mm		箇所			
単位当り	1	箇所			
A ます径		=1			
B 1工事の施工規模(S)		=2			
C 時間的制約(K1)		=1			
D 夜間作業(K2)		=1			
E 鋳鉄製防護蓋設置の有無		=1			

ます径 150mm
5箇所未満
時間的制約なし
昼間作業
設置なし

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=10	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 鉄筋・無筋構造物

積算単価算出表

施工 第0-0071号内訳表

頁0-0127/0149
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							1	
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=1	鉄筋・無筋構造物					

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格 1] As舗装版厚->15cm以下

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0073号内訳表

頁0-0129/0149
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式・湿式]			コンクリートカッタ			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート			
Z2		カソリン レギュラー スタンド			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ積0.13m3(平積0.10m3) [クローラ型・排出ガス型(第2次基準値)]			小型バックホウ(クローラ型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハートル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								

床掘り
 [規格1] 岩塊・玉石 現場制約あり

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0075号内訳表

頁0-0131/0149
 m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=2	岩塊・玉石					
B	施工方法	=6	現場制約あり					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=4	機械(小規模土工)					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=12	4.5km以下					

土砂等運搬
[規格1] 土質→軟岩

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0077号内訳表

頁0-0133/0149
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)				ダンプトラック 2t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1	運転手(一般)				運転手(一般)			
R								
Z1	軽油 1.2号 ハートル給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=3	現場制約あり					
B	積込機種・規格	=7	人力					
C	土質	=2	軟岩					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=11	4.5km以下					

土砂等運搬
[規格1] 土質→軟岩

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0078号内訳表

頁0-0134/0149
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハートル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土砂等発生現場	=3	現場制約あり				
B	積込機種・規格	=7	人力				
C	土質	=2	軟岩				
D	DID区間の有無	=2	有り				
E	運搬距離	=18	8.0km以下				

施工単価表

施工 第0-0085号内訳表

頁0-0141/0149

ラフテレン装備式アースオーガ`運転

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

時間 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)		人			
軽油		L			
ラフテレンクレーン装着式アースオーガ`		時間			
単 位 当 り	1	時間			

路床盛土
[規格1]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0088号内訳表

頁0-0144/0149
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含)			
K2	バックホウ 山積0.28m3(平積0.2) [クローラ型後方超小旋回型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工幅員	=2	2.5m以上4.0m未満				

不陸整正

[規格1] 補足材料->有り (29mm以上34mm未満)

[規格2] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

積算単価算出表

施工 第0-0089号内訳表

頁0-0145/0149

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ロータリープレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロータリープレート			
K2		ロータリー質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロータリー			
K3		タイヤローラ質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャーラン RC-40			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	補足材料の有無	=2	有り					
B	補足材料平均厚さ	=9	29mm以上34mm未満					
C	補足材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40					

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0090号内訳表

頁0-0146/0149
 m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータローラ	プレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータローラ			
K2	ロータ	質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロータ			
K3	タイヤローラ	質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	材料	=3		粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=100		全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1		1層施工				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0091号内訳表

1
頁0-0147/0149
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用)			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20) t=50mm			密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	カソリン レギュラー スタンド			レギュラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0092号内訳表

頁0-0149/0149
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用)			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20) t=50mm			密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	ガソリン レキユール スタンド			レキユールガソリン			
Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無	=1	無し				
E	瀝青材料種類	=5	無し				